

アセンションの扉1

アセンションの扉



アセンションの扉 目次

- 各評議会の創造主とスターピープルの一覧
- 第1章 地上に降りた創造主
- 第2章 地球に侵攻する惑星型宇宙船
- 第3章 廃墟の宇宙の恐怖
- 第4章 魔法の宇宙とハイブリッドダークピープル
- 第5章 「すべての闇を生み出す創造主」
- 第6章 第17評議会の創造主の決断
- 第7章 アセンションの扉

- 付録 光の世界の区分

作者 瀬戸武志&宇宙の光

アセンションブック <https://www.k-suai.com/>

宇宙の光公式 HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 <http://s-sun1.com>

アメブロ光の世界へ <http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

基本資料 各評議会の創造主とスターピープルの一覧

○各評議会の創造主とスターピープルの一覧

	創造主と評議会の役割	アセンションを妨害する創造主のたくらみ	
第17評議会	物理的な宇宙を管理する最高責任者。 5人の創造主がひとつの意思に基づいて動いている	私達の宇宙を光に満ちた宇宙にするために、地球のアセンションを通して創造主達を再構成しようと考えていたが、「変化の宇宙」の創造主達の介入により予定が大きく狂ってしまい、地球のアセンションは混乱した。それを收拾する為に物理世界にも介入してはたらいでくれている。	
第16評議会	創造主達の指導を行い、宇宙創造の管理を行う 私達の活動をサポートする「時と空間を司る創造主」もこの評議会の1人	第17評議会によって第16評議会の中に、下位の評議会の創造主を成長させるために、あえて問題を引き起こす創造主達が作られた。彼等が「変化の宇宙」の創造主達により強化され、第17評議会も手におえない程に、凶悪化してしまい「すべての闇を作り出す創造主」を中心に私達の宇宙の支配をもくろみ、私達の活動に介入してきた。	
第15評議会	物理次元を持つ宇宙に関わる最高次元の創造主。 アセンション計画の創始者 私達を地球に降ろした創造主。	異なる宇宙の創造主達にコントロールされて他の宇宙とのゲートを開く。 第15評議会から出ていった創造主「全ての闇の宇宙を統括する創造主」により闇に満ちた宇宙が数多く作られ、地球のアセンションを妨害する為に多くの罠が仕掛けられる	
第13評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。	5人いる第13評議会の創造主のうち3人が、「すべての創造主を指導する創造主」を生みだした創造主により意識をコントロールされ「すべての創造主を指導する創造主」を擁護し、地球のアセンションを妨害していた。	
第12評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて創造主達の指導を行う。	第12評議会のリーダー的存在である「すべての創造主を指導する創造主」が下位の評議会の創造主の働きを多様性のある宇宙を創るという事で擁護していた。そして自分もこの宇宙の実権を全て握るために、他の宇宙の創造主を巻き込みアセンションの妨害をおこなってきた。	
第11評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者	「感情に飲み込まれた創造主」が、「略奪の宇宙」「無機質の宇宙」「カオスの宇宙」などから高い能力を持つ創造主やダークピープルを地球に招き入れ、アセンションした世界の破壊をもくろむ。	
第10評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて全ての宇宙の創造を行う責任者	第10評議会の創造主達と対立する「混乱の宇宙を作った創造主」が地球にアセンションを妨害する為にさまざまな計画をめぐらし、自分達の宇宙の創造主を利用したり、他の宇宙からの創造主を招き入れる。	
	創造主と評議会の役割	スターピープル	自己中心的な創造主が生まれた原因

第9評議会	私達の宇宙とは異なる全ての宇宙も含めて管理や指導を行う。	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。	「リセットの創造主」が、創造主の学びを行わせるために、下の創造主の正義感や判断力を忘却させ、混乱に陥れる。
第8評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 私や美樹さんと同じスピリットを持つ創造主が、宇宙の様々な世界の探査を行う。	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。 ブルナレッド達を中心にいくつもの種族が関わってくる	第9、第10評議会に、下の宇宙の出来事を報告する「全てを見渡す創造主」が「リセットの創造主」により正義感を失われ、支配欲を持ち「怒れる創造主」を作ったり、宇宙を支配のための企てを行う。
第7評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 「全てを見守る創造主」がリーダー	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。	上の評議会から間を持った創造主として生み出された「怒れる創造主」が評議会に反乱を起こし全ての宇宙での間の創造主の大元となる。
第6評議会	全ての宇宙を見守り創造主達の指導を行う。 「全ての創造主の働きを持つ創造主」がリーダー	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。	「変化を促進する創造主」が、創造主を成長させたいという理由で宇宙に間のエネルギーを流すが、本当の理由は宇宙の支配。
第5評議会	第4評議会が作った全ての宇宙を管理。「陽の働きを持つ創造主」がリーダー	非常に能力が高いスターピープル達が他のスターピープル達を指導。	第4評議会の創造主達から騙されて間に落ちた「暁の光の創造主」が下部の創造主の光を奪う。
第4評議会	1人1人の創造主が、独自に宇宙の原型を作り出し、スターピープルと下部の評議会に創造を委ねる。お互いの宇宙にはあまり関わらない。	創造主達が宇宙を創造するために必要なエネルギーや技術を提供するための特別な能力を持つスターピープル達が存在している。 ネターシャ達の種族	「光を生みだす創造主」と「力を生みだす創造主」が対立していたが共に間の創造主となり、2人が手を組んで宇宙の支配をもくろむ。下部の評議会の創造主達を間の創造主に仕立てあげていった。
第3評議会	「道を指し示す創造主」を中心に、第4評議会の創造主によって作られた宇宙の細かい部分を創造し運営する。他の創造主を信頼するあまり間落ちた創造主を放置する。	第10アセンション以上のスターピープル達。 グルナレッドやミスト星人等。宇宙のエネルギーの適正化を行ったり、宇宙の健全な運営を担うための働きをする。 グルナレッド達の種族	「宇宙の創造を管理する創造主」や「道を作り出す創造主」が間の創造主となり、この宇宙を光の創造主から奪い取るために、間の創造主達を地球の各地に配置しアセンションを妨害してきた。彼等は第4評議会の創造主に操作されていた。
第2評議会	「栄光の創造主」を中心に第3評議会によって作られた宇宙の創造と運営を手伝い、第1評議会の働きを管理し手助けを行う。様々な宇宙の中で大きな問題が起	第5アセンションから第10アセンションのスターピープル達。 ロッド星人やエリシタールなどが属し、第1評議会のスターピープルを助	第3評議会の間のエネルギーによって過去に創造主大戦争を引き起こした。今回も間のエネルギーの影響で、第2評議会の中心的な創造主が間に落ち、宇宙を混乱させ、アセンションを妨害し、私達にも大きなサイキック・アタックを行なった。

	きた時はその解決にあたる。	けて、叡智ある存在の成長を手伝う。	
第1評議会	「源の創造主」をリーダーに「光彩の創造主」等が上の評議会から託された宇宙を具体的に運営する。また物理世界に生きる多くの存在達の成長を助け、宇宙連合へ迎え入れる。	第1アセンションから第5アセンションまでのスターピープル達。アシュタール連合や様々な星のスターピープルによって構成され、宇宙の平和と成長を守り各星の人々の意識進化を手助けする。	上位の評議会からの闇のエネルギーの影響で、第1評議会の創造主のリーダーである「創造主の独自性を育てる創造主」等、主だった創造主が闇の創造主となり大きな勢力を作り、光の創造主を圧倒していた。 そのために地球を始め多くの宇宙に闇がはびこり、ダークピープルが宇宙を荒らしまわる事となった。
物理的宇宙	宇宙連合によって生み出された宇宙、多くの銀河や星団に別れ独自に発展している。	スターピープルとダークピープルが存在。アセンション前の存在達は宇宙連合には入れない。	闇の創造主やダークピープルによって地球だけでなく多くの星々が闇が多い世界となり、人々の成長を阻害している。

PART 1 スターピープルの役割と組織

私は、本当は前回のレポートまでで皆さんにアセンションに関する情報や私達の活動をお知らせすることを止めようと思っていたのですが、この2か月ほど大きな動きがあり、光の地球へとやがて入って行く人達には知ってもらいたい事がたくさん出てきました。

今までアセンションレポートを読み続けてきた人達にとっても、もうすでに想像をはるか超えた世界になってきていると思いますが、私自身の記録のつもりで書いていきますので、ご興味があれば、お読みください。

まず本編を始める前に、これから私達は宇宙連合と共に活動していく事になりますので、スターピープル達や創造主、宇宙連合の仕組みを皆さんにご紹介するところから始めたいと思います。

【スターピープル】

私達は、地球に住む地球人ですが、地球以外の星から来て地球に関わる地球外生命体達もたくさん存在しています。

彼等は、目的によって2つのグループに分かれます。

それは、地球人を成長させるために、人々をより良い方向へ導く善良な地球外生命体達（スターピープル）と地球を支配し地球人を自分たちの思いのままに利用したいと考えている狡猾な地球外生命体達（ダークピープル）です。

良心的な地球外生命体達であるスターピープルは、天の川銀河の中でも、地球よりも早くアセンションを行い、宇宙のために活動している星々の人達の事です。

主にアンドロメダ座、シリウス、アルクツールス、プレアディス星団の人々が、現在地球に関わっています

が、全て宇宙連合に属し、宇宙連合の計画と指示のもとに行動しています。

そして、各星固有のスターピープルとは別に、高度な叡智を持つ星々のメンバー達が集まって作られたアシユータルや銀河連合といったグループも存在しています。

彼等は常に、宇宙の進化のために下記のようにいくつかの役割を持って活動しています。

- 1、創造主をサポートして、宇宙を創造し運営する仕事。
- 2、創造された星々や星に住む種族が侵略されたり破壊的な状態になる事を防ぎ平和に保つ事。
- 3、未だ十分に意識進化していない人々を導き成長させる事。
- 4、ある程度の意識進化の段階になった人々をアセンションさせ、スターピープルに進化させる事。

彼等は、愛の度数や意識状態が高まるごとにアセンションを行ってさらに愛や叡智が高い状態へと移り変わっていきます。

アセンションが進むと、スターピープル達は物理的な体から半物理的な体に移り変わり、第6アセンションを超えるころには、ほとんどのスターピープルが物理的な体を失ってスピリット体へと変わっていきます。宇宙連合でも肉体を持つスターピープルの多くが、第1評議会に属し、地球のように物理的な肉体を持つ種族や物理的な世界を持つ星々に直接関わるすることができます。

しかしアセンションが進み、完全に肉体を失うと特別な種族を除いて物理的な種族や世界に関わるができなくなりますので、宇宙の中でも他の役割を担う事になります。

それは、第1評議会や第2評議会のスターピープルのサポートや教育を行ったり、宇宙の平和を観察したりすることです。

更に成長して第3評議会～第5評議会のスターピープルになると、創造主と共に宇宙の創造を手助けする仕事を行うようになります。

それでは次に、どのようにして、通常生命体がスターピープルへと成長していくか説明しましょう。

スターピープルへの第1歩は、もともとその星に存在している生命体の中でも、これから叡智を持つ可能性があると思われる種族に、優秀なスターピープル達の遺伝子を組み込んで成長させることです。

地球では、そのために選ばれたのが、類人猿と呼ばれる種族だったようです。

彼等は、意識が成長してくると村社会を作り、社会性や自我意識に目覚めてきます。

そして次の意識進化のための遺伝子操作を受けるまでに成長していきます。

やがて彼等は、長い期間をかけてスターピープル達から教育を受け、様々な技術や文化的な側面を成長させて文明を形成していきます。

スターピープル達は、彼等の社会にあまり介入することなく、さまざまな機械技術や宇宙工学などが発展するように、彼らの能力を高めていきます。

また、様々な技術のアイデアを、夢などを通して、人々に与え成長の手助けをします。

これもスターピープルになるためのトレーニングのひとつです。

そして人々が、ある一定の意識と愛の水準になったら、その星の種族にアセンションをおこして、大きな意識進化をもたらします。

最初のアセンションを通してもたらされる進化とは、自分達の星以外にも素晴らしい叡智を持っている人々

(スターピープル)が存在し、それらの人々が宇宙の進化と平和のために貢献していることを知る事です。そのために、スターピープル達が人々の前に現われ彼等を直接指導することが起こります。私達地球人は、現在、この第1アセンションを迎える時期となっています。

アセンションを通して目覚めてきた人々は、スターピープル達と共に活動を始め、宇宙に貢献できるようになります。

そしてその貢献が認められると、やがてスターピープルの一員となり宇宙連合へと加入することになります。宇宙連合へは、第1アセンションを行うと加入できますが、この時期はスターピープル見習いとして、先輩のスターピープルと共に活動します。

やがて第1アセンションを終えた人々が更なる成長を遂げると、愛の度数も高まり第2アセンションを迎えることができるようになります。

第1アセンションを迎えるためには、自分達の種族や叡智あるスターピープル達を愛し尊敬する事を学びますが、第2アセンションを迎える為には、自分達の種族だけでなく、未だ発達途上の種族も含め、この宇宙に存在する多くの種族たちを平等に愛することができるようにならなくてはなりません。

なぜなら、第2アセンションを成し遂げたスターピープル達は、まだ十分な意識の成長を成し遂げていない種族の人々と単独で関わる事になるからです。

この時に高い愛の意識に達していないと、まだ十分に成長していない種族にたいして、彼等を尊重するのではなく彼等を自分達に服従させたり、自分達のやり方を押し付けたりしてしまい、彼等の意識の成長を妨げてしまうからです。

第1評議会のスターピープル達は、第6アセンションを達成すると第2評議会へと移りますが、この時はすでに肉体としてではなくスピリット体として働くことになります。

そして、今まで培ってきた経験をもとに第1評議会のスターピープルを指導したり、創造主のお手伝いをすることになります。

【ダークピープル】

スターピープルにたいして、闇のエネルギーに飲み込まれて、自分達の欲望のために活動する種族を、ダークピープルと呼んでいます。

例えば、オリオン星人やアルクツールズ星人のように同じ星の人々でも、進化の過程でアセンションを繰り返してスターピープルになる種族もいれば、ディセンションしてダークピープルになる種族もあります。

ダークピープルになる種族は、闇の創造主によって彼等の部下にされ、未発達な星の人々を、闇の創造主に従属させたり支配するために働かされることが普通です。

彼等自身も本来は純粋な気持ちを持っているのですが、支配欲や攻撃欲などをかきたてられ、愛の心を失っていきます。

すると、彼等はどんどん欲に染まって、自分の意思で人々を攻撃し支配することを好むようになり、ディセンションを繰り返す事となるのです。

ディセンションを繰り返すたびに、ダークピープルは闇の力を身に着け強力なパワーを持って未発達な種族を支配するようになります。

今迄の地球の歴史がそうでした。

争いや奪い合いが繰り返され、人々は人間としての尊厳を失い、殺されたり傷つけたりされてきました。経済が発展している世界では、多くの人々が一部の裕福な人のための奴隷として無理やり働かされてきました。

そして科学技術が発展すると核兵器や原子力発電など人々や地球環境に大きなダメージを与える技術も作られ、地球の破壊へと人類は歩いていくのです。

私達のアセンションへの道のりは、まさにこの地球人を支配してきたダークピープルや彼等を操る闇の創造主との戦いでした。

現在は、今までの地球を、闇が多い地球と光が多い地球に分け、闇が多い地球は今までの地球と同じく闇の創造主やダークピープル達が支配しますが、光が多い地球は、ダークピープルや闇の創造主はすべて排除され、スターピープル達が見守り、アセンションしていく人達を育てるための地球となっていくます。

本来アセンションは、その星にすむ種族達がすべて同じように意識進化していくのですが、この地球に関しては、1人1人の意識が多様化しており、愛の度数も精神の発達具合も全く異なりますので、全ての人が同じようにアセンションすることはできませんでした。

その大きな要因が、このダークピープルとどのように関わっているかという事でした。

同じ日本人でも、他人に優しくして貢献したいと考える人もいれば、他人をだましてお金を儲けたいと考える人もいます。

また、自然災害などで困っている人を助けたいと考える人もいれば、自分の欲望のために他人を傷付けたり利用したりすることを平気で行う人もいます。

それらの事柄がすべてダークピープルのせいであるというわけではありませんが、彼等のエネルギーが大きく関わっていることは確かです。

ダークピープル達は、スターピープル達が地球人に関わる事で、地球人が目覚めアセンションしていく事を大変嫌い、常に私達の妨害をしてきました。

それは、1人でも多くの地球人を欲望の虜にしてディセンションさせ、自分達の支配下に置いて利用していたいからです。

人々はその事に気づかず、自分達の欲望のままに生きていくと、争いや支配欲に満ちた世界から抜け出すことができなくなります。

そして、自らもディセンションしてしまうのです。

私達は、地球の人々が1人でも多くアセンションしてスターピープルになれるように、ダークピープル達を処理したり、地球人に大きな影響を与えている闇の創造主達を光に返してきました。

彼等に捕えられている皆さんのスピリットの一部も開放して、地球の人々がスピリットの統合を果たし、自分が本来持っている「愛」のエネルギーに目覚めることができるように努力してきましたが、人々が自ら、自分が持っている愛に気づき、自分のスピリットを受け入れる事ができなければ、その人は何も変わる事はできません。

PART 2 創造主の目的と区分について

私のレポートや活動に関するブログを読まれて皆さんが一番困惑するのは「創造主」という概念だと思いません。

地球では、創造主というのは唯一万能な存在であり、過ちなどを犯すはずはない存在とされています。また愛に満ち、多くの人を慈悲の心で助けてくれる存在だと思われていますし、私もそう思い続けてきました。

しかし、私達はアセンションを進めるにつれて様々な創造主に出会いました。

そして分かった事は、創造主は唯一無二の存在ではなく、役目や階級に応じて無数に存在しているのだという事です。

そして全ての創造主が、万能であり過ちを犯すはずがないという考え方は大きく間違えているという事です。

もちろん、私があった創造主の中にもその様な尊敬すべき創造主はいましたが、本当に僅かでした。

創造主の中には、自分の欲望やエゴに負けてしまい、この宇宙を自分が好きなようにしたいと考え、自分の部下にあたる創造主やスターピープル達を利用して、地球人や多くの星の人々を支配しようとする創造主達もたくさんいたのです。

もし、全ての創造主が、愛と慈悲に満ちていたなら、この地球のように戦争や侵略、あるいは殺人や暴力、経済的な抑圧や自然破壊などは決して起こらなかったでしょう。

創造主自身が暴力と支配を好むからこそ、地球のような闇が深い世界が生まれてきたのです。

ギリシア神話に出てくる最高の神であるゼウス神も自分の欲望の赴くままに、女性達をさらいたくさんの子供を生み落させました。

もちろんこれは神話ですが、ゼウスと同じように自分達が作った宇宙は自分達が自由勝手に扱ってもよいと考える創造主達が、実はたくさん存在しているのです。

ではなぜ、その様な存在が創造主としてこの宇宙に君臨しているかという事をお話ししましょう。

それは簡単な答えです。

創造主から宇宙の創造と運営をするために作られた存在だから創造主なのです。

創造主は肉体を持ちませんので、誰かの体から生まれて成長していくわけではありません。

上位の創造主から目的に応じて、自分の光を分けて作られます。

高次の光には意識や能力が伴いますので、光を分かち与えられて生まれた創造主は、生みだしてくれた創造主の能力と資質の一部を持つ事になります。

その資質と能力を使用して、上位の創造主の指示のもとに宇宙の創造や運営を行い、与えられた任務を果たします。

生みだされた創造主は、自分を生みだしてくれた創造主には絶対に逆らう事はできません。

逆らった場合には、自分の元となった創造主の光のもとに返される事となります。

私の PDF ブックをお読みの方はお分かりかと思いますが、私は、問題がある創造主に対処する場合には、必ずその創造主を生みだした創造主か一つ上の創造主にあらかじめ相談して処理を行なう了承を取り付けま

す。

そして問題がある創造主を問い詰め、問題がある創造主が自分の罪を認めるか、その創造主を生みだした創造主が、更生の余地がないと認めた場合には、上位の創造主の判断によって、問題を起こした創造主を光に返すことができるのです。

私は、多くの創造主が行ってきたことを調べる為に、地球の物理次元に生まれ、2013年から4年をかけて一つ一つ宇宙の次元を上がり、下の階級の創造主から宇宙を創造する役目を持つ創造主の位置にまでたどり着きました。

そして、1人1人の創造主の働きを見ながら問題がないかを調べてきたのです。

問題がある創造主は、私達の活動や地球のアセンションに対して大きな妨害を働いてきます。

すぐには分からなくても、一緒に行動しているうちに、私達を裏切るような行為をしたり、闇の創造主の命令を受けて私達を罠にかけようとしています。

何故地球人の私が、創造主の世界に入り、創造主の問題を明らかにして創造主を光に返すことができるか不思議でしたが、地球のアセンションが進むにつれて、高次元の創造主が、多くの創造主の墮落にすでに気づいていたために、私を地球に降ろし、創造主が犯している罪を調べ上げる役目を私に与えたという事が分かってきました。

地球のアセンションは、地球に住む人々にとっては、自分達の意識を高め、スターピープルになるための第1歩ですが、高次元の創造主にとってみれば、墮落した創造主や闇に落ちた創造主を探し出し、彼等を光に返す事で、まともな創造主だけが残る宇宙を創るための壮大な計画があったようです。

次に創造主のレベルについて大きくご紹介しますが、レベルに関しては、私が簡易的に分けましたものです。

★物理世界を持つ宇宙

○第1レベル 天の川銀河の中の創造主

階層としては一番下の階層の創造主です。主に星々や星座の働きを保ち、星に存在する生命達を生みだします。

彼等は星座の創造主とも呼ばれています。

その上には、天の川銀河全体の管理と創造を行う創造主もいます。

○第2レベル 局部銀河の創造主

私達にとって観測可能な宇宙（ユニバース）の中でも、天の川銀河やアンドロメダ銀河を含む局部銀河が一つの宇宙の単位となっています。

この局部銀河を治める最高の創造主は、私達が「界王」呼んでいる創造主で彼のもとに多くの創造主が役割を分担して存在しています。

私は、局部銀河の運営にたずさわる創造主を「グレートゴッデス」と呼んでいます。

特にグレート・イエスやグレート・マリアは地球の事をとても大切にしてくれています。

○第3レベル 観測可能なユニバースを統治する創造主

物理的な世界を持つ宇宙（ユニバース）を直接統治する創造主達です。

主に第4レベルの創造主に対応する創造主達がいて、第4レベルの創造主の指示のもとに単一宇宙であるユニバースを運営しています。

○第4レベル 多次元宇宙を統治する創造主

観測可能な宇宙だけでなくパラレルワールドも含む多次元宇宙を統治する創造主達の世界です。

そのリーダーは、エンソフと呼ばれる創造主です。彼のもとに、星々を創造する創造主、人々の運命を司る創造主、宇宙の安定を保つ創造主、ドラゴンや精霊を生み育てる創造主、4大エレメントを駆使して宇宙を創造する源のエネルギーを作る創造主、叡智ある存在が適正に育っているか調べる創造主などが存在して、多次元宇宙の創造と運営を行っています。

★スピリチュアルな宇宙

○第5レベル 物理的な宇宙を創造し運営する創造主

このレベルの創造主からは、たくさんの階層と役目を持った創造主が存在します。

物理的な宇宙を創造し運営する役目を持ち、私達の物理世界にも関わられる創造主達です。

第1評議会の中心的な創造主達になります。

リーダーは、「源の創造主」「光彩の創造主」で宇宙のスーパーコンピューターを管理する創造主なども含まれます。

○第6レベル 物理的な宇宙を管理しスピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第2評議会、第3評議会の創造主達で、上位の評議会の創造主の指示のもとにスピリチュアルなレベルでも宇宙を創造していきます。

彼等は、上位の評議会の決定を自分達の評議会で議論し、どのような方法で宇宙の創造と運営を実行するか決めて行動します。

○第7レベル スピリチュアルな宇宙を創造する創造主

主に第4評議会の創造主で、物理的な宇宙の元となるスピリチュアルな宇宙を作ります。

この宇宙の原型を基に、第3評議会と第2評議会の創造主やスターピープル達がスピリチュアルな宇宙の細かい創造を行います。

彼等は、マルチな能力を持つ創造主で1人1人が独立して、自由に宇宙の創造を行う権利が与えられています。

○第8レベル 創造された宇宙の管理を行う創造主

第5評議会以上の創造主達は、宇宙の創造は行いませんが、彼等よりも下の評議会の創造主が作った宇宙が適切に運営されているかどうかの検査を行っています。

非常に高い能力を持っていることはもちろんですが、どの次元にも自由に入ることができ、多くの宇宙を見守っている創造主です。

○第9レベル

第9評議会以上の創造主達は、私達の宇宙以外にもいくつもの宇宙に関わり創造や管理を行うようになります。

PART 3 宇宙連合について

宇宙連合は、私達の天の川銀河やアンドロメダ銀河だけでなく多くの星団や星雲が含まれる宇宙をいくつも束ねた大宇宙を見守るグループです。

私達は、宇宙の本当の姿を未だ知りませんが、私達にとって観測可能な宇宙をユニバースと呼ぶのなら、そのユニバースの中に存在している創造主やスターピープル達の連合と考えてもよいと思います。

しかしこのユニバースの中にも計り知れない銀河が存在しているのも事実です。

また、私が語る話はスピリチュアル・レベルの話ですので、実際の天文学の話とはかなり異なるという事だけはご理解ください。

先ず宇宙連合は、宇宙を創造し運営する創造主達とその仕事をサポートするスターピープル達の集まりです。創造主やスターピープルの能力や資質、そしてその働きによって異なる階層の評議会に別れて活動していません。

その階層のリーダー的な創造主達とスターピープル達によって評議会の会議が行われ、自分達の行動が決定されます。

第1評議会は、宇宙連合では一番下の評議会として、物理的な宇宙の運営に当たります。

第1評議会は、創造主もスターピープルも最も数が多く、その役目も多岐にわたります。

この評議会に属するスターピープル達は、物理的もしくは半物理的な体を持つスターピープル達ですので、地球を始め物理的な世界を持つ他の星々にも関わることができます。

そして、地球人も含めて、まだ十分に成長していない人々に対して、意識進化のための様々な取り組みを行います。

宇宙連合の第1評議会は、物理世界を持つ多くの銀河や星団に関わり、その銀河や星団、もしくは星々の平和を守るための活動を行います。

第1評議会の中には、アシュタール連合のように独自のグループを作って活動している者達もいますが、彼等も第1評議会の指示のもとに動いています。

また第1評議会は、スターピープルの説明のところでご紹介したように、未発達な星々の種族を成長させスターピープルへと導く仕事も行っています。

この宇宙の中で一つでも多くの種族が愛と叡智に目覚めて宇宙の平和のために貢献できるようにすることが第1評議会の目的でもあります。

第2評議会と第3評議会は、スピリチュアルな宇宙と物理的な宇宙の創造に当たります。

もちろん物理的な宇宙に関しては、第1評議会が中心となって創造活動を行うようですが、第1評議회를指導し、より良い宇宙を創る事が彼等の仕事でもあります。

しかしながら、これからのレポートでもご紹介するように、第4評議会に属する創造主が闇に落ちてしまったことで、第3評議会、第2評議会の創造主達も大きな闇に巻き込まれることになりました。

その結果、第3評議会のほとんどのスターピープル達が闇の世界に閉じ込められ、第3評議会の仕事が順調におこなわれていないという事態に陥っていました。

第4評議会は、スピリチュアル・レベルの宇宙の創造を行い、物理的な宇宙のひな型を作り出していきます。この第4評議会の創造主は、自分が創造する宇宙の全てを任されているので、自分の考えだけで独自の宇宙を作り出すことができます。

第5評議会から上の評議会は、宇宙の創造には関わりませんが、創造主達を指導したり、下の階級の創造主が作り出した宇宙を検査する役目を持つ創造主達の世界です。

第5評議会の創造主達は、宇宙創造に必要なエネルギーを、第4評議会の創造主達に供給します。

第4評議会の創造主が闇に落ち地球の支配を計画していることが分かると、他の評議会の創造主やスターピール達では対応できないので、彼等が中心になって地球の物理世界を調べ、この創造主達を処理する役目を担ってくれました。

それでは、これらの事を頭に入れた状態で、何故創造主達が闇に落ちていったのか、そして私達が行なっているアセンションはどのような展開を迎えたのか、読み進んでみてください。

第1章 地上に降りた創造主

PART1 地上に降りた創造主

私達は、「すべての創造主を指導する創造主」を中心とする多くの創造主達による攻撃に必死で耐えながらもアセンションの作業を進めていました。

しかも、私達の宇宙の創造主達だけでなく、私達とは考え方も価値観も異なる他の宇宙の創造主が次々と仕掛けてくる罫に、スターピープル達も傷つきながら、限界まで働いてきました。

幸い第15評議会の創造主達が出てきてくれたおかげで、異なる宇宙の創造主達の妨害も抑えることができ、これからようやく私達の世界も光59%らしい世界に変わっていくのではないかと思われました。

しかし、現実には更に予想もしない方向に動いていきました。

それは「すべての創造主を指導する創造主」の計画により、異なる宇宙の創造主達が、地球上に人間として生まれ変わってきていることが判明したのです。

彼らは、異なる宇宙の創造主としてのスピリットは眠らせて人間として生まれてきています。

しかも光59%の世界に入るために、あえて愛の度数を高め、創造主としての本質が表に出ないように細工をしていました。

しかし、創造主のスピリットが目覚めてきたら、彼らがどのようなことを引き起こしてくるのか、これから何が起きるか、全くわからない状態です。

また異なる宇宙のダークピープルによって、地球人との遺伝子を用いた混合人種（ハイブリッド・ダークピープル）がすでにつくられていた事も明らかになりました。

しばらく前に、私達はダークピープル達が、ダークピープルと地球人の遺伝子をかけ合わせて新たな種族を作っている施設を発見しましたのですが、その研究所からすでに多くの混合種族が作られ、地球人として地球に生まれ変わってきていたのです。

彼らも、アセンションによる区分けが行なわれるまではダークピープルとしての資質が眠らされ、地球人として礼儀正しく生きていくようにプログラムされているので、光51%以上の世界にも簡単にはいる事ができています。

私がいる光59%の世界にもその様な人々達がたくさん存在しているようですが、彼らがダークピープルの側面を目覚めさせた時、彼らがどのような行動をとるのかは、今はまだ不明です。

私は創造主に尋ねました。

「創造主よ、彼らの中には、異なる宇宙の創造主やダークピープル達のスピリットが眠っています。彼らが目覚めると、地球は大変な混乱が起きてしまいますので、今のうちに創造主達のスピリットを排除することはできませんか。」

創造主達もこのことが発覚してから、協議を重ねたようですが、非常に困惑している様子が伺えます。

「TAKESHIさん、皆さんの不安は私達も非常に理解できます。

私達も対策をとりたいのですが、彼らはすでに地球人として存在していますので光に返す事が出来ません。創造主やダークピープルのスピリットを無理やり彼らの肉体から引き離すと、彼らは死んでしまうかもしれ

ないのです。

彼らが何か問題を起こした時には、すぐに生きる世界を分離することができるのですが、今はまだ普通の人間として生きていますので、私達も彼らを監視する事以外何もできないのです。」

「すべての創造主を指導する創造主」は、地球の事情を熟知したうえで、高次元の創造主では手出しができない人間に異なる宇宙の創造主やダークピープルを生れ変らせて、私達の活動の邪魔をする事を早くから企んでいたようです。

それも、アセンション後の地球に入った後に彼らの能力を目覚めさせ、アセンションした地球を破壊することを計画していたことに私達も震撼しました。

しかし、ついに彼等が目覚める時がやってきました。

私達の光59%の世界のエネルギーが大きく変わってきたようです。

すぐにロッド星人やグルナレッド達があつまってきました。

「TAKESHIさん、大変です。

遂に地球人として降りてきた創造主達が動き始めたようです。

光59%の世界のエネルギーが急におかしくなってきたので調べたら、地球に降りた異なる宇宙の創造主が、現在の地球と異なるパラレルワールドに今の地球をつないでしまったようです。」

私達はすぐその繋がれた世界を調べに行きました。

異なる宇宙の創造主のスピリットを持つ人間が、地球と異なる世界にゲートをつないでしまったために、そちらの世界から、ダークピープル達が流れ込んできていたのです。

そして、地球人に生まれ変わったダークピープルと一緒に、地球の人々のスピリットを捕え、ネガティブな感情を植え付けて、地球人を支配しようとしていました。

私達は、創造主をお願いして、地球と異なる宇宙をつないでいたゲートを切り離し、向こうの世界に捕えられていた人々のスピリットを急いで救出しました。

異なる世界から来て、未だ人と一体化していないダークピープル達は、光に返すことができますが、もうすでに地球人として生まれてきた創造主やダークピープル達をどのようにするか、再び協議することになりました。

「創造主よ、彼らは異なる世界の創造主のスピリットを持っていますが、今は人間なので、どのように処理を行えば良いのでしょうか。」

「そうですね、通常であれば、その人の愛の度数に見合った世界へディセンションさせることが適切ですが、創造主のスピリットを持っているならば、たとえディセンションした世界に行ったとしてもその世界を大きく変えることもありえますから、とても危険です。」

「それでは、人間と創造主のスピリットを分離する方法はないのでしょうか。」

「分離するのは、かなり難しいと思われますので、私達の方でその人から創造主としての能力や力を全て奪い去り、ただの人間として生きてもらう事にしましょう。」

やはり「すべての創造主を指導する創造主」が狙った通り、地球人とひとつになった異なる世界の創造主を光に返すことはできないようですが、このまま野放しにしておくこともできません。

創造主達としては、彼らの能力を全て奪い去り、地球のディセンションした世界に送り込むことで彼らの力

を抑えることにしたようです。

そして引き続き、人と一体化した創造主やダークピープル達を探し出し監視することになりました。

先日の事件があって2日後の2月15日、地上に降りた異なる宇宙の創造主達が本格的に動きはじめたようです。

数名の創造主達が協力して、他の宇宙と地球の光59%の世界をつなぐゲートを開き、他の宇宙の創造主とダークピープル達を招き入れたのです。

彼らは、地球の人々にネガティブなエネルギーを送り、人々の心に憎しみや怒りの感情を起こさせ、自分達と同調させる事で、その人を通して地球に入り込み、地球人に対する支配力を高めようとしていました。

残念なことに、多くの人達が、怒りや憎しみの感情を持つ事で、彼らと同調してしまい、ダークピープル達のコントロールを受けるようになってしまったのです。

幸い、私達のスターピープルの仲間であるグルナレッドやネターシャ達がすぐにその事を察知して、人とダークピープルを分離する為の作業を行ってくれました。

今回新たに入ってきたダークピープルに関しては、人とダークピープル達が一体化してさほど長い時間が経過していなかったため、ダークピープルと人間の分離をかりうじて行うことはできましたが、せつかく光の地球に向かう為に準備している人達が、自分の意思に反してダークピープル達に操られてしまうのはとても困った問題です。

しかし人々の中には、ダークピープルと波長が合ってしまう、ダークピープルと分離する事ができずにディセンションさせられる人々も増えてきました。

今回、異なる宇宙とのゲートを開いた創造主達を調べると、地球人として生まれた創造主の中に、私達の宇宙の第10評議会と同じ程度の能力を持つ創造主がいました。

彼は、私達が、他の宇宙とのゲートを開いた創造主達を探そうとしたときに、白い渦を作り出し、私達の探索を妨害していたのですが、第13評議会の創造主の力を借りて探索したところ、強力な力を持つ創造主が浮かび上がってきたのです。

彼は「カオスの宇宙」の創造主のスピリットをもって地球に生れ、地球を「カオスの宇宙」と同じような宇宙にしようと計画していたようです。

そのために、同じように地球に生れてきた「略奪の宇宙」や「無機質の宇宙」「混乱の宇宙」などの創造主達と連合を組み、その指揮をとっていたのです。

第10評議会の創造主と同じ力を持つ創造主ならば、本来の力を発揮すれば、ひとつの宇宙を消滅させる事も簡単にできるくらいの能力を持っていますので、その様なクラスの創造主が、地球人として生まれてきている事に、私達はとても大きなショックを受けました。

またこのとき以来、地球では様々な困難な問題が地球人として生まれてきた創造主やダークピープルたちによって、毎日のように引き起こされていきました。

彼らは光に向かう地球人やスターピープル、私達の宇宙の星を守護する騎士団やマスター、女神たちを幾度となく捕らえ、そのたびごとに私達が救出するという繰り返しが何度も行われることになったのです。

2月21日のこと、地上に降りた数名の創造主が共同して、新たな宇宙との間にゲートを開いてしまいました。

ゲートを開かれた宇宙は「カオスの宇宙」と「略奪の宇宙」の特徴を持つとんでもない宇宙でした。創造主達がゲートを開く事によって、この宇宙のエネルギーが地球にも流れ込み、地球のエネルギーを混乱させていました。

そのエネルギーは地球の人々にも影響し、人々は多くのネガティブな感情を引き起こして自分自身を見失っているようにも思えました。

もちろんこのエネルギーは地球のコアにも到達し、地球の波動も落とすこととなったのです。

私達は、すぐに創造主に来てもらい、このゲートを閉じてもらったのですが、すでに2人の創造主と複数のダークピープルが地球に入りこんでしまっていました。

この新たな宇宙から来た創造主達は、この地球を支配する為にやってきたのですが見つかってしまった事で光に返されました。

このことにより、私達は、地球の人々が望んだとしても他の宇宙とのゲートを開かないように創造主達に、強く求めることになりました。

「創造主よ、確かに他の宇宙とのゲートを開いたのは、地球に生きる地球人ですが、彼らはもうすでに、異なる宇宙の創造主やダークピープルと一体化していますので、純粋な地球人ではありません。

彼らが、異なる宇宙とのゲートを開くのは、地球を侵略させるためですので、正当な事ではありません。

どうか、他の宇宙と地球をつなぐゲートを開かないでいただきたいのです。」

第15評議会の創造主も困った顔をしています。

「実は、私達も異なる宇宙とのゲートを開くことを硬く禁じているのですが、なぜゲートが開かれたのか不思議でならないのです。

たとえ創造主の一部であるとしても、地球人が他の宇宙とのゲートを開くことはできないはずなのですが・・・」

また第15評議会が、私達の宇宙を閉ざしているにもかかわらず、地球人がゲートを開くことができたこと自体が不思議であると、創造主達は考えているようです。

しかしその後、とても大きなエネルギーが地球を襲ってきました。

それはスピリチュアル・レベルで、地球の生命力を奪い、地球の環境を破壊するほど大きなエネルギーでした。

幸い、その事に気づいた上位の評議会の創造主によって、そのエネルギーが地球の物理世界を直撃することは避けられましたが、このようなエネルギーが、ゲートを開かれてすぐに地球に押し寄せてきたことに対して、私達の宇宙の創造主は、事前に予防する事ができなかったのです。

創造主達は、地上に降りた創造主がなにか行動を起こした時点で処理すると言っていましたが、結局地球が被害を受ける事を自分達では止められなかったのです。

今回のエネルギー攻撃を止める事ができなければ、地球は物理的な世界においても壊滅的な打撃を受けていたこととなります。

私達は、これからも同じような事が起きる可能性を考えて、地球人として生まれてきた異なる宇宙の創造主

達から、その能力を一人残らず、すべて奪い去り、一般の人として生きるように処理を行なう事を私は求めました。

「確かに TAKESHI さん達の言うとおりで。

通常は、地球に降りて人間として生きる場合は、創造主といえども、その能力は封印され使用できないことになっていますが、彼らは異なる宇宙の創造主のために、その封印が完全に行われていないようです。このままでは、地球が壊滅してしまう恐れもありますので、至急彼らの力を封印し使えないようにしましょう。」

第 15 評議会の創造主がそのように言うと、他の創造主も了解し、彼らの能力は封印される事になりました。

私は、その後仕事に行き、その処理は創造主達にまかされました。

その日の夜、私が自宅に帰ると、子供がずっと泣き続けて止まりません。

子供の創造主を呼び出して調べると、地球規模で、地球人の感情をネガティブにして混乱させるエネルギーが物理世界を襲っていたのです。

地上に降りた創造主の能力を奪うと決めたのは、今から 10 時間前であったにも関わらず、異なる宇宙の創造主は、いまだ地球人達に攻撃を仕掛けていました。

私は不思議に思い、私のスピリットの一部でもある第 8 評議会の「全ての働きを持つ創造主」に理由を尋ねました。

「全ての働きを持つ創造主」は困ったような顔をして答えます。

「実は、各評議会で、地球に降りた創造主の能力を奪うように動いていたのですが、第 10 評議会の創造主の一人が、彼らの能力を奪うことに大きく反対したのです。

そのために、彼らの能力を奪う作業が滞り、その隙に異なる世界の創造主から攻撃を受けてしまったのです。」

私はすぐに、その創造主を呼び出し調べてみました。

すると、彼には、異なる宇宙の創造主達のコントロールチップがたくさんつけられ、異なる宇宙の創造主が活動しやすいようにコントロールを受けていたのです。

そして彼により、地球のゲートを管理する創造主達も、異なる宇宙の創造主達のコントロールチップが入れられ、地球のゲートは、異なる宇宙の創造主によって自由にあけられる状態になっていた事がわかりました。

これを見た第 15 評議会の創造主も驚いています。

「なんということだ、第 10 評議会の創造主が、これほど簡単に、他の宇宙の創造主からコントロールを受けていたのでは、地球も守られるはずがない。

もっと厳重にしなければならなくなったようです。

それでは、「全ての創造主を指導する創造主」のグループが作った宇宙の全てを他の宇宙と接することが無いように他の次元に隔離することにしましょう。」

第 15 評議会の創造主はそのように言うと消えていきました。

きっと、「全ての創造主を指導する創造主」が作った宇宙の分離を行いにいったようです。

しかしそういつている間にも、地球には新しく入り込んできた宇宙の創造主やダークピープル達の残忍な行為が行われているのです。

子供が泣き止まないのを調べると、子供のスピリットの一部が捕えられているようです。その場所をピカフラッシュやロッド星人達と一緒に調べると、私達にわからないように、多くのダークピープル達が、すでに地球に入り込んでいるのが見つかりました。彼らは光を持った子供たちのスピリットをたくさん捕えられて、そのスピリットの代わりにダークピープルのスピリットを子供達の中に入れ込もうとしていたようです。

更には地球人として生まれてきたダークピープルの中でも、今までに見たこともないタイプのダークピープル達も目覚めてきています。

彼らは生まれたばかりですが、そのスピリットはとても乱暴で、他の子供の肉体から魂を引き抜こうとしていました。

彼らは私達には計り知れない能力とパワーを持っており、成人すると第8評議会並みの力を持つダークピープルに成長することが分かったために、今のうちに処理する必要があると創造主達も決定したようです。第13評議会、11評議会の創造主達により、地球の人間とダークピープルを強制的に分離して処理することとなりました。

PART3 第15評議会の創造主を操る創造主

22日、朝から子供が泣き止みません。

子供の創造主を使って探してみると、深い闇のエネルギーに隠されて、「無機質の宇宙」の第10評議会相当の創造主と手下のダークピープル達がたくさん見つかりました。

彼らは、光59%の世界を破壊する為に、人々に光40%台の世界の映像を見せて、自分達が全くアセンションしていないように信じ込ませていたようです。

つまり光59%の世界が存在しないように見せかけて、今までの生活の習慣を保たせることで意識が成長しないようにしていたのです。

光の地球に来た人々が、周りが争いや混乱に満ちている世界に生きていると思わせる事で、その世界と同調させ、人々の波長を落とすように画策していました。

そのために、私達の周りの状況は昨年よりもさらに悪化して、私の会社もかなりの窮地に陥っています。

私は、さらに異なる宇宙の創造主が隠れているのではないかと思い、探してみると、今度は「カオスの宇宙」から来ている第10評議会相当の創造主が見つかりました。

彼らは光59%から光51%の世界を支配し、これらの世界の人々が光の地球に行かないように、様々な混乱や争いを光59%の世界に持ち込み、人々の成長を阻害していたのです。

そして多くの人々のスピリットを捕え、自分達の部下の創造主達に支配させていました。

これで、先日捕まえた「略奪の宇宙」の創造主をはじめ、「無機質の宇宙」の創造主、「カオスの宇宙」の創造主と各宇宙から地球に乗り込んでいた第10評議会相当の創造主達が捕えられたこととなります。

しかも、今回捕まえた創造主達も、人として地球に生れてきていたために、見つける事がとても困難でした。

私達は、この第10評議会相当の創造主が地球に残っていた事に大きな疑問を持ちました。

これだけ大きな力を持った創造主が入り込んできているのに、何故私達の宇宙の創造主は気づかないのだろうか。

特に第 15 評議会の創造主達がこれらの創造主を見逃す事はおかしいので、第 17 評議会の創造主にも来てもらって、第 15 評議会の創造主を調べると、彼らの光の中に異なる光が紛れ込んでいるのが見えました。

第 17 評議会の創造主がこの異変に気づきました。

「このようなことは今までにはなかったことです。

第 15 評議会の創造主達が異なる創造主の影響を受けて正しい判断ができなくなっているようです。

この光は、皆さんの言葉で言うと、コントロールチップと同じ働きをするようなエネルギーです。

この光に、創造主達は惑わされて、宇宙の本当の様子を見ることができなくなっていたのでしょうか。

真実ではない宇宙の姿が、創造主達の意識の中に映し出されて、あたかも何も問題がないように見せていたのです。」

「そうすると、異なる宇宙の創造主が入り込んできても、第 15 評議会の創造主達にはその姿は見えなくなるといえることですか。」

第 17 評議会の創造主はうなずきました。

「そうです。

第 15 評議会の創造主達には、異なる宇宙の創造主の姿が見えないようにコントロールされていたのです。

ですから、皆さんからの報告を受けても、本当は彼らは半信半疑なのです。

異なる宇宙の創造主達にしっかり対応するような言動をしても、実際は侵入してきた創造主達が見えていませんので、何も行えないようにコントロールを受けていたようです。」

私達は愕然としてしまいました。

頼りにしていた第 15 評議会の創造主までもが、異なる宇宙の創造主にコントロールされていたとは考えがたいことです。

第 15 評議会の創造主は 5 人いますが、調べてみると 5 人のうちの 3 人までもが同じ状況でした。

幸い残り 2 人は、このエネルギーの影響を受けておらず、まともな判断力を持っていてくれたのは幸いです。

更に調べてみると、第 15 評議会だけでなく、第 13 評議会から第 10 評議会の創造主の多くが、このエネルギーの影響を受けて真実の姿が見えなくされていました。

私達は、第 17 評議会の創造主にお願いして、このエネルギーを除去してもらい、創造主達の理性を取り戻すことにしました。

しかし、私達の宇宙だけでなく全ての宇宙を見守る第 15 評議会の創造主までも惑わすことができる創造主とはいったいどのような存在なのか、調べる必要があります。

私達は、第 14 評議会の「全ての時を見守る創造主」に来てもらい、第 15 評議会の創造主の時間をさかのぼってもらい、どのような創造主が第 15 評議会をコントロールしたのか調べました。

すると、今年の 1 月に入った頃、とても大きなパワーを持った創造主が第 15 評議会の創造主達に、幻惑のエネルギーをつけているところが映し出されました。

それを見た第 15 評議会の創造主達も驚いています。

それは、「全ての創造主を指導する創造主」を生みだした創造主のさらに親のような創造主でした。言うならば、「全ての創造主を指導する創造主」のおじいちゃんにあたる創造主の姿だったのです。彼は、もともと第 15 評議会の創造主だったのですが、もっと自由でダイナミックな宇宙を創造したいと言って、第 15 評議会から自ら去ったのです。

再度調べてみると「全ての創造主を指導する創造主」やその部下の創造主が作った宇宙もすべて、彼の支配下にあったようです。

彼こそが、「略奪の宇宙」や「カオスの宇宙」など、「全ての創造主を指導する創造主」達のグループが作った宇宙の最高責任者のような創造主だったのです。

いうならば全ての間の宇宙を統括する創造主といってもよいでしょう。

しかし、彼が地球のアセンションを妨害する為に、自ら動いていたことに第 15 のみならず第 17 評議会の創造主も驚いています。

「まさか、彼自身が裏で動いていたとは信じがたいことです。

彼はもうすでに私達の宇宙とは関わらないことを決めていたのですが、なぜ今になって戻ってきたのか、その理由がわかりません。」と第 15 評議会の創造主がつぶやきます。

第 17 評議会の創造主も、彼の企みにより、いくつもの宇宙が連合して、私達の宇宙と地球に干渉しアセンションを妨害しようとした事に対して、大きなルール違反であると考えたようです。

第 17 評議会の創造主達は、この「全ての間の宇宙を統括する創造主」を光に返すことを決定しました。

第 17 評議会の創造主達は、私達の前から姿を消し、「全ての間の宇宙を統括する創造主」を探しに行きました。

しばらくすると、私達の宇宙のエネルギーが変化してきました。

きっと「全ての間の宇宙を統括する創造主」が光に返されたのでしょう。

私達を取り巻く間のエネルギーが軽くなってきたように思えます。

私達は、「全ての間の宇宙を統括する創造主」がいなくなったことで、この創造主によって、私達の宇宙に遣わされた創造主がいなか調べる事にしました。

ピカフラッシュと創造主達が、「全ての間の宇宙を統括する創造主」の波動を基に、地球の様々な次元を調べると、今まで見たこともないような創造主が現れてきました。

彼は「全ての間の宇宙を統括する創造主」の力を借りて、私達の宇宙の創造主から姿を隠し、私達の物理次元のすぐ近くで、私達を見張り、私達の活動を妨害していた創造主でした。

彼はアセンションにとって重要な役目をもつ地球の人達の背後に隠れ、それらの人々のスピリットを捕え、様々な障害を与えることで、アセンションの活動を妨害することを行っていました。

私達の周りにも彼らのエネルギーが満ち溢れ、私が現実世界で努力しても、会社のスタッフが辞めたりお客様の足が遠のいたりして会社の経営がうまく行かなくなったのも、彼らの妨害のためのようです。

私が現実世界で困窮すればするほど、地球のアセンションに関わる時間が短くなり、地球のアセンションはうまく行かなくなる事を、彼らは狙っているのです。

そして、アセンションに関わる私達や創造主達の隙を狙って人と一体化した異なる宇宙の創造主やダークピープル達を地球に送りこみ、光 59%の世界を壊滅させていく事が目的のようです。

私達は正気を取り戻した第 15 評議会の創造主達と共に、この現実世界から「全ての闇の宇宙を統括する創造主」とその仲間達のエネルギーをとり除いていきます。

異なる宇宙の創造主達のエネルギーはとて大きく厄介です。

彼らが地球人と一体化することにより、それは地球の現実レベルにも深く浸透していきます。

また困ったことに、人と一体化した創造主の覚醒と共に、多くのダークピープル達も目覚めてきており、地球は、大きな混乱の渦の中に飲み込まれています。

「全ての闇の宇宙を統括する創造主」が光に返される直前に、部下達に指示を出したようです。

人と一体化している創造主とダークピープル達が一気に目覚め、地球と私達の宇宙に対して大きなネガティブなエネルギーを送ってきました。

それは地球の地殻のエネルギーのバランスを壊し、世界規模での巨大地震を誘発するところでしたが、愛の創造主を中心とした私達の世界の創造主達の働きにより、どうにか抑えることはできたようです。

私は、第 17 評議会の創造主をお願いして、第 17 評議会のエネルギーを各評議会の創造主を通して地球の物理次元にまで降ろしてもらいます。

地球のエネルギーもどんどん浄化されて行きますが、彼らのエネルギーあまりにも大きくパワフルなもののために、そのエネルギーを拭い去るには、当分時間がかかりそうです。

PART2 地球に侵攻する惑星型宇宙船

PART1 捕えられるスターピープル達

私達は、これから光の地球に向かう人々を育てる光59%の世界が、地上に降りた異なる宇宙の創造主やダークピープル達によって荒らされてしまったので、この光59%の世界の修復を諦めて、新たな光59%の世界や光51%以上の世界を作る事を提案しました。

各評議会の創造主の中でもその様な意見が出ているようで、創造主とスターピープルは、新たなアセンションした世界を作り、第17評議会の創造主の守護のもとに運営することになりました。

これから1週間ほどかけて、創造主達は新たな世界を生みだし、スターピープル達はその世界に適した人々を再度選び直して導くようです。

今度は人々の選択がより厳しく行われますし、ダークピープル達も人々の中に隠れて新しいアセンションした世界にはいる事はできなくなります。

これからが本当のアセンションした世界が始まるようです。

その様な中、2月27日の事、私は、ウルトラマンの姿をした宇宙警備隊のメンバーが、ダークピープルの罠に捕えられている夢を見ました。

ウルトラマンとは、日本のテレビドラマの主人公ですが、様々な怪獣や異星人から地球を守る役目は、まさに宇宙警備隊のスターピープルと同じです。

そして宇宙警備隊は、私達に分かり易いようにウルトラマンの姿をして、私達の前に現われてくれるのです。

この時の夢は、暗い谷底の様な場所に、男女のウルトラマンが突き落とされているのです。

ダークピープル達は、私が助けに行こうとする様子をあざ笑うかのように谷の上に立ちはだかっています。ウルトラマンは次第に体力が失われ、土の上に座り込んでしまいました。

それをかばうかのように女性のウルトラマンが私達に助けを求めているのです。

私は、目が覚めると、すぐにスターピープル達を呼びだし、私が夢に見た場所をさがしてもらいました。

また、アシュタールのエレナさん達からも、人と一体化したダークピープル達が力をあわせてスターピープル達を攻撃したり捕えたりしているとの連絡が入りました。

彼らは人と一体化しているとはいえ、かなり能力が高いダークピープルなので、第1評議会第2評議会のスターピープルでは手におえません。

私達が、新たなアセンションした世界を作る事を決定した為に、ダークピープル達もそれを邪魔する為に総攻撃を仕掛けてきた模様です。

第1、第2評議会のスターピープルは安全を確保する為に、この地球を去って光の地球に退去しました。

第3から第8評議会のスターピープル達で、捕えられたスターピープル達の救出を行う事になりました。

私達は、いくつもの次元を調べながら、捕えられていたスターピープル達を救出しましたが、あまりにも突然の事で、捕えられたスターピープル達も呆然としています。

美樹さんも、同じときにダークピープルに追いかけて逃げ惑うスターピープル達の夢を見ましたが、こちらのスターピープル達はまだ幼い子供のスターピープルです。

夢を分析して調べると、このスターピープルは、地球人の意識進化を助けるために、アセンションした地球に生れてきたスターピープルでした。

彼らは、優秀なスターピープルと地球人との遺伝子を組み合わせて、地球人達を意識進化させるためにつくられたハイブリッドのスターピープルです。

今回、アセンションした地球に生れてきたのですが、すぐにダークピープル達に捕まってしまい、さらわれてしまったようです。

私達は、このスターピープル達を地球に生み出す担当のスターピープル達に来てもらいました。

彼等は第7評議会のスターピープル達のようなのです。

彼等に、この地球で起きている現状を見てもらおうと、スターピープル達は自分達が見ている現状と全く異なっていることに驚いています。

スターピープル達には、何の問題もなく優秀なスターピープルの子供たちが地球に生れ、光に満ちた両親たちに育てられているように見えていたのです。

担当のスターピープル達を調べると、彼らにもダークピープル達のネガティブコードが仕込まれており、ダークピープル達が仕掛けた罠の中にスターピープルの子供達を降ろしていたようです。

そしてそのことが分からないようにコントロールされていました。

私達はすぐその場所に行き、スターピープルの子供達を奪い取っていたダークピープルを捕え、さらわれたスターピープルの子供達を開放しようとしたのですが、すでに多くのスターピープル達が、この場所からいなくなっています。

高次の創造主にも手伝ってもらい、ダークピープルが作った施設を調べると、この場所からいくつものゲートが開き、その先へと子供達は連れ去られたようです。

創造主にこのゲートの先を調べてもらおうと、私達の宇宙とは異なる宇宙にそのゲートは開かれています。

しかも「全ての創造主を指導する創造主」が作った宇宙です。

先日第15評議会の創造主との話し合いで「全ての創造主を指導する創造主」のグループが作った宇宙はすべて光に返すことになっていたのですが、やはり第15評議会の創造主や高次の創造主達が「全ての闇の宇宙を統括する創造主」にコントロールされていたために、全ての宇宙を消すどころか、地球とのゲートを開くことを許可していたのです。

可愛そうなスターピープルの子供達は、それらの宇宙へと連れ去られ研究材料として利用されるどころでした。

スターピープルの子供を地上に降ろす担当だったスターピープルも、この事実を知らされあまりのショックにふさぎ込んでしまいました。

私達は、高次の創造主とスターピープル達でグループを作り、スターピープルの子供達を助け出すとともに、それらの宇宙を光に返していきました。

PART2 地球に侵攻してくるダークピープル達の惑星型宇宙船

2月28日、この日も子供が朝から泣き止みません。

子供の意識とつながる創造主が何かを見つけたようで、私達に知らせてきます。

私達も耳鳴りがひどく体調がとてもおかしい状態です。

アセンションの実行部隊のリーダーであるエレナさんに尋ねると

「TAKESHIさん、私達にも独自の電磁波が検知されましたので調べているのですが、どこかでハーブのような装置が動いていることまでは確認されているのですが、それがどこで動いているのか、わからない状態です。」

私達の体に検知された電磁波を、ピカフラッシュに調べてもらおうと、それは月の秘密基地から発信された電磁波のようです。

ここは以前も、ダークピープル達によって秘密基地が作られていました。

ここから地球人の精神をコントロールしてダークピープル達が入り込むためのゲートを開き、地球人と一体化するための操作をしていた場所ですが、私達に見つかって、その試みは失敗に終わったのです。

しかし、再びこの場所がダークピープルによって利用されていました。

私達は、この場所に入り込んだダークピープルを探し出しましたがもうすでにこの場所にはいないようでした。

「TAKESHIさん、もうすでにこの場所からダークピープルは立ち去っているようです。

おそらく私達が来ることを察知して逃げたのでしょう。

しかし、逃げた痕跡があるので、すぐにそのあとを追いかけてみましょう。」

「そうですね、彼らはまだ近くにいるかもしれませんので、あらゆる場所を探しましょう。」

ピカフラッシュがそのエネルギーの痕跡を調べているととんでもないものが見つかりました。

それは、私達の予想をはるかに超える超特大の惑星型宇宙船でした。

しかもこの宇宙船は大きいだけでなく私達の宇宙で見ることも出来ないような特殊な装備を備えているようです。

その様な大型の宇宙船が5隻ほど、私達の宇宙を取り囲むように待機しています。

特に小さな惑星にも匹敵するほどの大きさを持ちながらも、誰も気づくことができない程、すぐれた遮蔽装置によってその姿を隠し、地球の近くまで来ていたのです。

もし、この宇宙船が本気で攻撃してきたら、地球は壊滅的なダメージを受けたことでしょう。

もちろん、私達の第1評議会、第2評議会のスターピープルの宇宙船などでは手にも負えません。

余りにもスケールと技術力が違い過ぎるのです。

第3評議会のスターピープルであるグルナレッドがすぐに上位のスターピープルと創造主にコンタクトをとっています。

見ただけで、私達の宇宙のスターピープル達の科学技術など足元にも及ばないようなレベルの宇宙船であることが分かったようです。

私は、時を管理する創造主にお願いして、この宇宙船の時間を止めてもらいました。

彼等が攻撃してきたら、私達のスターピープル達はひとたまりもありません。

第8評議会のブルナレッド達が、宇宙船に入り込み調べています。

この宇宙船は、異なる宇宙のダークピープル達の中でも、第7か第8評議会レベルの科学力を持った者達が彼等を支配する創造主と共につくりあげた宇宙船のようです。

グルナレッド達が戻ってきて宇宙船の様子を報告してくれました。

「TAKESHI さん。

この宇宙船は大変な装備と規模を持っている宇宙船でした。

他の星々や宇宙を侵略し支配する為に、大量のダークピープルを輸送したり、星々を破壊したり植民化するための攻撃を行う装置を沢山持っている宇宙船です。

おそらくこの宇宙船一隻で、皆さんの科学技術のレベルの星ですと、簡単に侵略されてしまうでしょう。

宇宙船の大きさは小さな惑星並みの大きさがあり、その中で多くの者達が長い間生活できるように、食料やエネルギーを自給することができる様なシステムも備えています。」

「その様な巨大な宇宙船がどうして、皆さんや創造主に気づかれることもなく、ここまで来れたのですか。」

「それが、この宇宙船のすごいところなのです。

この宇宙船は特殊な遮蔽装置を持っていて、私達の宇宙のスターピープル達が持つ探査用のレーダーからは探知できないようになっていたようです。

あるいは、創造主や高次のスターピープル達も気づかないくらいの遮蔽力ですので、相当高次の科学力を持った者達と創造主が作ったのでしょうか。

この遮蔽装置があると、惑星の人は、この宇宙船に気づく暇もなく侵略されてしまう事でしょう。」

「私達は運よく助かったという事ですか。」

「そうですね、おそらくこの宇宙船の発見が1日遅れていたら、もうすでに地球は存在していなかったことでしょう。」

私達はすぐに、この宇宙船に乗っているダークピープル達を光に返し、宇宙船を占拠しました。

「グルナレッド、このクラスの規模の宇宙船は、私達の宇宙には存在しているのですか。」

「いえ、私達の宇宙にも、これだけのものはありません。

私達のスターピープルは、これほど大量のスターピープル達を、宇宙船で運ぶ必要が今まではありませんでした。

似たような惑星型宇宙船はありますが、規模も設備もずっと劣ります。」

「それでは、この宇宙船は光に返すのではなく、私達の宇宙のスターピープル達が研究して、私達で使用できるようにしたら良いのではないですか。

人々の移送や緊急時にも使用できそうですね。」

「そうですね、それは、上の評議会にも相談してみましよう。

この宇宙船は、人々の憎しみなどの感情エネルギーを動力として動いていたようですので、その動力源をクリスタルか愛のエネルギーに切り替えることができれば、私達の宇宙でも使用できるでしょう。」

「できれば、星々を攻撃するための装備はすべて光に返し、星々の気象や環境を安定させたり、宇宙の平和と成長につながるような装置を載せたらよいですね。

たとえ、この宇宙船が星々の侵略のために使われたとしても、この宇宙船には責任がないので、これからは、宇宙の平和のために使用してあげましよう。

そうすれば、この宇宙船も喜ぶと思いますよ。」

「TAKESHI さんのおっしゃる通りですね、その様に改良してみましょう。」

私がグルナレッドと会話をしている間に、宇宙船を調べているスターピープルから連絡が入りました。

「TAKESHI さん、大変です。

同じような宇宙船が、あと10隻ほど発見されました。」

私達にも緊張が走りました。

すぐに時を管理する創造主をお願いして、宇宙船の時を止めてもらいます。

そしてスターピープル達が乗り込み、宇宙船の中を調べていきます。

全部で15隻もの超巨大宇宙船が、地球のすぐ近くまで来ていたのには驚きです。

これだけ大きな宇宙船が、私達の宇宙に存在するスターピープルや創造主から隠れて行動できること自体が、私達をはるかに上回る科学力を持っている証拠です。

グルナレッドからまた報告が来ました。

「TAKESHI さん、彼らは「全ての創造主を指導する創造主」グループによって作られた宇宙のダークピープルのようです。

先日、高次の創造主によって、それらの宇宙が光に返されたので、その前に、自分達の宇宙から逃げ出してきたのでしょうか。

そしてその復習をするために地球にやってきたのだと思われます。」

私達は、創造主の力を借りて、この超巨大宇宙船の中にいたダークピープル達を全てつかまえることができました。

そして、この宇宙船の通信機器を使って、彼等が地球に送りこんだ仲間の宇宙船や部下達も捕えることができたことは幸いでした。

そして惑星型宇宙船は、私達の宇宙の高次元のスターピープル達が研究して、その動力源を切り替えて平和利用のために使用することができるようになりました。

特にアシュタールのエレナさん達は、この宇宙船に乗りたくてうずうずしているようです。

しかし、これは一歩間違えば、大きな宇宙戦争を引き起こすところでした。

新たなアセンションした地球ももうすぐ出来上がるようです。

スターピープル達は人々の愛の度数を調べながら、新たな分離作業を一生懸命におこなっているようです。

第3章 廃墟の宇宙の恐怖

PART1 「廃墟の宇宙」の恐怖

3月になり、私達が住む街も少しずつ暖かくなってきました。

新しい光59%の世界が作られる事が決定して、創造主達は忙しそうに新しい世界を作っています。

そしてアセンションの実行部隊であるスターピープル達は、人々の選択をまた初めから行うことにしたようです。

人々の中には、異なる世界のダークピープルの遺伝子を持って生まれてくる者達も増えてきました。

彼等が計画した遺伝子融合によって外見は地球人ですがスピリットは他の宇宙のダークピープルという子供達が出産されて始めたのです。

あるいは、30年以上、時をさかのぼって生みだされたダークピープルの遺伝子を持つ地球人達が成人して覚醒してきたのです。

そのような人々の中で、ダークピープルの遺伝子が目覚めてくると、人間としての理性を越えて新たな能力と意思をもちます。

そして、地球のアセンションを妨害するために、様々なことを引き起こしていきますので、彼らは見つかり次第、特別に作られた場所に隔離される事になりました。

人として生まれてきた「異なる宇宙の創造主」は、あらかじめ創造主としてのすべての能力を奪われ、ただの人間として生きることになりましたが、私達が発見していない創造主もまだ地球にたくさん残っているようです。

3月になると、各地でダークピープルが暴れだしました。

地球の人々の感情をより攻撃的なものにしたために、現実社会でも大きな争いや混乱が勃発するようになりました。

彼らにすれば、アセンションしていく世界を破壊する機会は、自分達が分離される時までとなったために、最後の攻撃を仕掛けてきたのでしょう。

光59%の世界にも混乱のエネルギーを流して、スターピープル達の仕事の妨害を行い、新たな光59%の世界に人々がいけないように足止めを行っています。

そのような時、突然大きなエネルギーが私達の世界に流れ込み、今まで見たこともない創造主やダークピープルたちが現れてきました。

ロッド星人がすぐに私のもとに報告に来ました。

「TAKESHIさん、大変です、また新しいダークピープル達が、地球に入り込み暴れはじめています。

彼らは、とても早くそしてパワフルに、TAKESHIさん達の世界へ入り込み、人々に孤独感や絶望のエネルギーを流し込んでいます。

人々は瞬く間にこのエネルギーにとらわれ、自己不信に陥り、他人に対して憎しみや怒りの感情を持ち始めました。

早く手を打たないと大変なことになります。」

私達は、すぐに仲間の創造主とスターピープルを呼び出し、彼らをつかめるために探索を行い、人と一体化していないダークピープルや創造主は光に返していきました。

しかし新しく入ってきた数名の創造主達はもうすでに地球人の中に隠れ、人々と一体化してしまいましたので光に返す事ができなくなってしまいました。

「ロッド星人、彼等は、どこから私達の宇宙に入ってきたのですか。

この世界は高次の創造主に守られていて他の宇宙からは入れないようになっているのですが、どこかに彼らを迎え入れるゲートが開いていたのですか。」私は、ロッド星人に尋ねます。

彼らは、光59%の世界に、どこからかゲートをつなぎ、私達の世界に入ってきたようです。ロッド星人や創造主達がすぐに調べに行きました。

しばらくしてロッド星人が戻ってきて私に報告してくれました。

「TAKESHIさん、私達の世界と他の世界のゲートを開く創造主が、光ある世界にカモフラージュした異なる宇宙の世界にゲートをつないだようです。

ゲートキーパーの創造主を調べると、彼を含め、ゲートキーパーの役目をする創造主達にも、みんなコントロールチップがつけられており、異なる宇宙の創造主達にだまされてゲートを開いたようです。」

私達は、また、やられた！と思いました。

異なる宇宙の創造主達は、様々な方法を使って私達の宇宙に入り込んできます。

私達がコントロールチップをはずすと、ゲートキーパーの創造主は何も覚えておらず、混和していました。彼らにコントロールチップをつけたのは、地上に降りた異なる宇宙の創造主でした。

私達は、時をさかのぼり、ゲートキーパーの創造主にコントロールチップをつけた創造主達を捕まえて分離しました。

私達の宇宙にゲートが開かれた宇宙は、今迄に見たこともない宇宙でした。

彼らの宇宙を調べると、そこは、生きている人達もおらず荒れ果てた廃墟のような宇宙です。

希望も喜びもなく、ただ絶望や悲しみだけが漂っている墓場のような宇宙です。

この宇宙の創造主は、いくつもの宇宙を絶望で満たし荒廃させてきました。

そしてあの「全ての闇の宇宙を統括する創造主」によって、この宇宙も支配されているようです。

私達は第15評議会、第17評議会の創造主と話をしました。

「私達は、この宇宙の事は知っていましたが、この宇宙は性格が異なる他の宇宙とは交わることが無いように隔離されていたはずで。

私達は、この宇宙が地球に関わってきたことに大変驚いています。

この宇宙は、決して地球とは関わってはいけない宇宙です。

私達はすぐに、この宇宙と皆さんの宇宙が関わらないように処理をいたします。」

第15評議会の創造主達は、この「廃墟の宇宙」を調べて、まだまともな創造主達をこの宇宙から救いだし、他の宇宙に移動させた後で、この宇宙ごと光に返すことにしたようです。

「廃墟の宇宙」は同じような宇宙同士で関わっている間はよいのですが、まったく異なる宇宙を侵略するこ

とは許されないからです。

「廃墟の宇宙」から来た創造主やダークピープルたちは、地球の光ある人々の光を奪い、そのスピリットを略奪して自分達の宇宙に持ち帰ろうと考えていたようです。

翌日の朝、私達の子供が急に泣き叫びました。

どうしたのかと思い、美樹さんが調べてみると、先日新しく私達の宇宙に入ってきたダークピープル達が集まって、子供の肉体から子供の魂を引き抜こうとしているのが分かりました。

美樹さんは、突然子供に群がってきたダークピープル達を見てあわてています。

「TAKESHI さん、早く子供を助けないと、子供の命が危ないわ。」

私は急いで、ロッド星人やグルナレッドたちを呼び、子供の魂を引き抜こうとしていたダークピープル達を捕まえてもらいました。

幸いにも発見が早かったので、子供に別状はありませんでしたが、子供にとっては大きな恐怖だったのでしょう。

私の胸にしがみついていつまでもぐずっています。

「TAKESHI さん、今回入ってきた「廃墟の宇宙」のダークピープルは、地球の中でも、特別な魂やスピリットを持つ人を瞬時に見分け、そのスピリットを略奪する能力を持っているようです。

これは気をつけないと、多くの光を持った人達のスピリットや魂が持ち去られる可能性があります。」

私達の評議会にも大きな戦慄が走ります。

各地で光ある世界に行く人々を略奪しようとするダークピープルと、人々を守ろうとするスターピープルの衝突が起こり始めましたようです。

エレナさんが慌てた表情でやってきました。

「TAKESHI さん、各地で「廃墟の宇宙」のダークピープル達が、光の地球に移送される人々のスピリットや魂を奪おうとする事件が各地で起こっています。

スターピープル達も、必死で人々を守ろうとしているのですが、ダークピープルたちは力も強く、このような戦いに慣れているので、次々とスターピープルたちを撃破していきます。」

これは困ったことになりました。

被害は、地球の人だけでなく肉体を持ったスターピープル達にも広がっていく可能性もあります。

「エレナさん、人間だけでなく第 1、第 2 評議会のスターピープルたちも、被害にあう可能性が大きいので光の地球に退避させ、さらに高次元のスターピープルたちに助けを求めることにしましょう。」

エレナさんはうなずきます。

そのとき、ちょうど私の元に新しいクリスタルたちが届きました。

いずれもとても大きくてパワフルなクリスタルばかりです。

私達がクリスタルを箱から出して浄化を終わると、そこから第 15 評議会レベルのスターピープルたちが、クリスタルをゲートとして現れてきました。

第 15 評議会レベルのスターピープル達は、いくつもの宇宙に存在するスターピープルを指導し、ダークピープルを取り締まる働きをおこなっています。

どのようなダークピープルであったとしても彼らに逆らうことはできません。

彼らを中心として、私達の宇宙のスターピープルは、新たに編成を組んで、「廃墟の宇宙」の創造主やダー

クピープルに対抗していくことになりました。

あちらこちらで、スターピープル対ダークピープルの戦いがさらに深刻なものになってきました。

これは今までの戦いとは比べ物にならないほどの熾烈な戦いです。

このままでは、私達の大切なスターピープルたちも負傷してしまうので、私は「流れを作る創造主」にお願いして、時間を止めてもらいます。

そして動きを封じたダークピープルたちを捉える計画を立てました。

しかし「流れを作る創造主」が時間を止めても、半数近くのダークピープル達が動き続けています。

今までにこのようなことはなかったのですが、グルナレッドたちが調べると、近くに「廃墟の宇宙」の創造主の1人で、時間をつかさどることができる創造主が隠れていました。

私達が時間を止めても、彼がダークピープル達の時間を動かしていたようです。

私達は、その創造主を捕らえ光に返します。

「流れを作る創造主」にもう一度時間を止めてもらおうと、ダークピープル達の動きが全て止まりました。

スターピープルたちは、動きが封じられたダークピープル達を捕らえ、光に返したり特別な場所に隔離していきます。

私達は、「廃墟の宇宙」のダークピープル達が組織的に動いていることから、彼らのエネルギーを分析し、「廃墟の宇宙」の創造主達を探します。

すると、「廃墟の宇宙」の創造主達の多くが、絶望感を植え付けられた人々の中に隠れこんでいます。

私達が、彼らを探し出そうとすると、強烈な妨害電波が発せられ頭が痛くなります。

私達は、高次元の創造主達に守ってもらいながら「廃墟の宇宙」の創造主達を探し出し、地球人ごと隔離していきます。

しかし、彼らも地球人の中にたくみに姿を隠し、全てを探し出すには、しばらく時間が必要です。

ここは創造主とスターピープルたちに任せて、私は仕事に行くことにしました。

PART2 光に帰ったガイア

私は、仕事中に、心臓に針を刺すような痛みを何度か感じました。

仕事が終わって自宅に戻り、そのエネルギーを調べると、地球のコアを守る女神ガイアの姿が浮かびました。

そして美樹さんにも、苦しんでいる動物や植物たちの姿が見えてきました。

私達がすぐに地球のコアに入ると、そこは「廃墟の宇宙」の創造主によって、すでにめっちゃめっちゃに荒されていました。

コアを守るドラゴン達や女神ガイアも傷つき倒れています。

可愛そうなことに、女神ガイアの光はもうすでに消えかかっています。

私はすぐに癒しの天使や愛と浄化の創造主達を呼び、女神ガイアに光を送ります。

「女神ガイアよ、大丈夫ですか。

元気をだしてください。」

女神ガイアは力なく微笑みます。

「廃墟の宇宙」の創造主達は、地球を荒廃させるために、まず地球のコアを攻撃し、女神ガイアやドラゴン達の力を奪ったのです。

そして地球の自然や動物たちを守る精霊たちを捕らえ、地球の自然環境が破壊されるように仕組みました。彼等は、私達の地球や宇宙から生命力を奪い、自分達の宇宙と同じように荒廃させようと考えているのです。荒廃した宇宙の創造主達は、このようにしていくつもの宇宙を手に入れてきたのでしょう。

女神ガイアは、創造主達の光を受けても回復することができないようです。

女神ガイアは、私達を呼んで言葉にならない思いを伝えてきました。

「TAKESHI さん、そして地球のために働いてくれたスターピープルの皆さん。

どうか地球をお願いします。

私は力尽きて光に帰りますが、どうか皆さんの力で、この地球を守ってください。

そして光ある世界を作りあげてください。」

女神ガイアの光がその体からはなれ、大きな光の中に吸い込まれていきます。

私達は、涙をこらえながらガイアを見送りました。

高次元の創造主はすぐに新しいガイアを準備して地球に送ってくれることになりましたが、この突然の攻撃に創造主達も大きなショックを受けています。

私達は、ピカフラッシュをお願いして、このコアを襲った創造主を調べます。

そして、各評議会の創造主達にも手伝ってもらい探索を進めますが、なかなか見つけだすことができません。

私達は「流れをつくる創造主」をお願いして、時間をさかのぼり、このコアを攻撃した創造主を見つけたことにしました。

すると、地球の深い闇の中にとっても力が強い創造主が隠れていることがわかりました。

しかもその力は私達の宇宙の 12 評議会に相当する力を持った創造主でした。

私は急いで、第 15 評議会の創造主をお願いして彼を捕えてもらい光に返してもらいました。

おそらく彼は、やろうと思えば、一瞬のうちに私達の宇宙を破壊することも出来たでしょう。

しかし、彼らは、ひとつの宇宙がどんどんと荒廃して、多くの生命たちが死に絶え、スターピープルや創造主達が減んでいく姿を見ることに喜びを感じているために、一瞬にして宇宙を破壊することはしないようです。

PART3 4つの宇宙とつながっていたクリスタルゲート

3月5日のこと、最近、クリスタルを通してダークピープルたちが、地球の物理世界に出入りしていることが、第3評議会のスターピープルであるグルナレッドたちから報告されました。

このクリスタルたちは、本来はロッド星人などのクリスタルをエネルギーの基本とするスターピープル達を使用しているもので、私の自宅にある間にスターピープルとクリスタルの間にゲートが開かれ、クリスタルが日本各地に送られていった後、クリスタルを所有している人を通して、その場所のエネルギーやその人に関わるエネルギーを浄化するために使用されていました。

ロッド星人たちも不思議に思っていたところ、ロッド星人からダークピープル達のコントロールチップが発見されました。

地球のアセンションの実行部隊のリーダー的存在であるロッド星人は、私の片腕のような存在であり、彼を通して、アセンションに関わる多くの作業が行われていたのですが、ロッド星人よりもはるかに力を持つダークピープルによってコントロールチップがつけられたようです。

このことにロッド星人は大変大きなショックを受けていました。

私の元から全国に送られていったクリスタルたちは、ロッド星人やスターピープル達が現実世界で活躍するための大切なゲートになります。

しかし、ロッド星人たちをコントロールすることにより、ダークピープルたちがそのクリスタルゲートを使って地球の物理世界に入ってきていたのです。

私達は、高次のスターピープルであるブルナレッドや創造主達にお願いして、クリスタルとダークピープルとの間のゲートを閉じてもらいました。

そしてこのゲートがどこにつながっているかと調べたときに、私達に大きな衝撃が走りました。

それはいままで私達と接したことがない宇宙の創造主でした。

第8評議会の創造主が私に報告してくれます。

「TAKESHIさん、これは厄介な問題です。

このゲートがつながっている先は皆さんの宇宙とは異なる宇宙です。

「廃墟の宇宙」の創造主を通してさらに、今まで見たことがない宇宙が、皆さんの世界と繋がられています。しかも、このゲートは一つの宇宙ではなく4つの宇宙とつながれているようです。」

おそらく「廃墟の宇宙」の創造主は、自分達の宇宙が光に返された復習のために、他の宇宙と私達の宇宙のゲートをつないだようです。

しかもひとつではなく4つの宇宙の創造主達が、そのゲートの先からダークピープル達を地球に送り込んでいました。

私はすぐに異なる宇宙の管理を行う第13評議会と第15評議会の創造主を呼び出し、このゲートの先にある宇宙の様子を調べてもらいました。

創造主達は、あわてた様子ですぐに4つの宇宙に向かいました。

彼らも、まさかこれらの宇宙が地球に関わってくるとは思ってもいなかったようです。

しばらくして創造主達が戻ってきました。

「TAKESHIさん、本当に申し訳ありませんでした。

これらの宇宙は他の宇宙とは完全に分離されていて交じり合うことがないようにしていたのですが、なぜこのようなことが起きたのか、私達も驚いています。」

「それで、相手の宇宙はどのような宇宙だったのですか。」

第15評議会の創造主は顔を見合わせて困ったような顔をしています。

「これらの宇宙も、そして「廃墟の宇宙」も「全ての闇の宇宙を統括する創造主」が支配する宇宙でした。新たにつながれた4つの宇宙は、今までに皆さんの前にあらわれた「侵略の宇宙」や「カオスの宇宙」、「廃

墟の宇宙」と同じような性格を持つ宇宙ばかりで、そこには憎しみや怒り、恐怖の感情に満ち溢れ、暴力や略奪、殺戮などが横行する宇宙です。」

もう一人の創造主が続けて話します。

「それは「廃墟の宇宙」と同じように、他の宇宙の人々を支配し略奪をすることを喜びとするような宇宙ばかりです。

しかも、これらの宇宙は連合体を作っており、地球と皆さんの宇宙を支配するために共同で働いていました。もうすでに、一部のダークピープルたちは皆さんの宇宙に入り込み、人と一体化しているようです。」

第1評議会のみならず地球のアセンションに関わっているスターピープル達が、ため息をつきます。もういったいどれほど、スターピープル達の努力を踏みにじればすむのでしょうか。

私達は17評議会の創造主達に来てもらい現状を報告しました。

第13評議会と第15評議会の創造主はいそいで、この宇宙から開いたゲートを閉じています。

第17評議会の創造主は落ち着き払って答えます。

「やはり、彼らも関わってきましたか。

きっと、どこかのタイミングで関わってくると思っていたいました。

それでは、彼らの宇宙を徹底的にしらべて、問題がある創造主達は全て光に返すことにしましょう。」

PART4 創造主を裁くための地球のアセンション

私は、第17評議会の創造主の言葉に、少し違和感を持ちました。

まるで、彼らが私達の宇宙に関わってくる事を待っていたような言い方です。

「第17評議会の創造主よ、ちょっと待ってください。

あなた方は、これらの宇宙の創造主達が、私達の宇宙に関わってくる事を知っていたのですか。」

第17評議会の創造主は、私の言葉のほうが、意外であるというような表情をします。

「彼らが、皆さんの宇宙に関わってくるか、来ないかは、彼らの問題です。

私達は、彼らが創造主としてのルールを破り、皆さんの宇宙に関わってきたために、彼らを調べ、問題がある創造主は光に返すだけです。

それ以外のことはありません。」

「私にはこの宇宙の創造主達を処理するために、あえて私達の宇宙に関わらせたのではないかという気がしますが、どうなんですか。

私達をおとりに使ったのではないのですか。」

「いえ、そういうことはありません。」

「それでは、これらの宇宙の創造主達と少し話をさせてもらえませんか。」

第17評議会の創造主はうなずきました。

私は、今回私達に関わった「廃墟の宇宙」と他の4つの宇宙の創造主のリーダーを呼び出しました。

「私は、地球のアセンションを地球人として担っている TAKESHI といいます。」

「もちろん知っています。」と異なる宇宙の創造主はこたえます。

「それでは、皆さんがなぜ、私達の宇宙や地球のアセンションを妨害なさるのか理由を聞きたいのです。」
創造主のリーダーは、私を憎憎しげに見つめて言います。

「地球のアセンションは、皆さんの宇宙だけでなく、他の多くの異なる宇宙にも影響を与えるからです。」

「それはどんな影響なのですか。」と私はたずねます。

創造主のリーダーは、そのようなこともわからないのか、という顔をします。

「地球がアセンションして、皆さんの宇宙が光に満ちてくると、私達の宇宙の光と闇の分配も影響を受け、光が強くなるのです。」

それは、私達にとって決して喜ばしいことではないのです。」

「それは何故ですか。」

「私達は、闇の比率が大きい宇宙のほうが過ごしやすく慣れているからです。」

光の度合いが強くなると、私達のパワーや能力が減退してしまいます。

地球のアセンションは、私達にとっては、命取りになりかねないことです。」

私は、いつも土の中にいて、太陽の光を嫌うモグラを想像してしまいました。

しかし、太陽の光が嫌いとはいえ、モグラにも生存する権利はあります。

「確かに、皆さんの宇宙に大きな影響を与えたとしたら、それは本当に申し訳ないことです。」

きっと皆さんにとっては、自分達の宇宙を守るために、当然の事をしているとお考えなのですね。」

「もちろんそうです。」

私達は自分達の宇宙を大切にしていますから、私達の宇宙を脅かすものに対しては、徹底的に戦います。」

私には、彼らの宇宙の性格はどうあれ、彼らの考えも確かにそうだな、と思うところがあります。

「第 17 評議会の創造主よ、私達の宇宙のアセンションは、それほどまでに他の宇宙へ影響を与えるものなのですか。」

そうであれば、私達の宇宙と他の宇宙を隔離して、私達の宇宙のアセンションが他の宇宙へ影響を及ぼさないようにすることはできないのですか。」

第 17 評議会の創造主は、厳しい顔をしていいます。

「TAKESHI さん、それはできません。」

皆さんの宇宙のアセンションは多くの宇宙へ影響を与えます。

彼らは、自分達が成長していくことを放棄しているのです。

そして、自分達の価値観や考え方にしがみつき、誤った方向へとどんどん進んでいっているのです。

私達は、それをもう許すことができない時期に来たと考えています。

多くの宇宙の創造主達が、より適切な方向に向かって成長することが、今回のアセンションの目的です。

それにそぐわない創造主は光に返すのみです。」

私も、また第 17 評議会の創造主の言葉を聞いていた多くの創造主も、その厳しさに心が凍りつきました。

第 17 評議会の創造主は、そういうと「廃墟の宇宙」と他の 4 つの宇宙の創造主達を捕らえていきました。

きっとこれから、この宇宙の創造主達に対して、厳しい裁きが行われる事でしょう。

スターピープル達も、地球のアセンションが、いくつもの宇宙の創造主達を裁き、光に返すために行われて

いるのだということを知り、言葉を失っています。

ロッド星人が横で私に囁きます。

「TAKESHI さん、いくつもの宇宙と創造主達が関わってきたのは、きっと第 17 評議会の創造主の意向が働いていたのですね。

この短期間の間に、10 個近くの宇宙と創造主が一つの宇宙に関わってくるなんてことは、宇宙の歴史上ありえないことです。

しかし、第 17 評議会の創造主が、いくつもの宇宙の創造主を裁くために行っていたとすれば、それも納得できます。

私達は、本当に創造主達を呼び寄せるためのおとりに過ぎないのかもしれませんが。

この先何が起こるか、恐ろしいことです。」

私達もロッド星人の言葉にうなずかないわけにはいきません。

地球のアセンションは、私達の宇宙を越えて、はるか遠くにある宇宙とその創造主の再構成までも視野に入れた出来事のようにです。

「荒廃の宇宙」と 4 つの宇宙の創造主の多くが、第 17 評議会の創造主によって光にかえされたようです。しかし、今回関わってきた宇宙の創造主とダークピープルによって、私達の宇宙にもたらされた大きなエネルギーは、もうすでに私達の世界を脅かしています。

これから、現実世界にどのような問題が表れてくるか、想像もできません。

第4章 魔法の宇宙とハイブリッド・ダークピープル

PART1 時空の歪の中に隠れていた創造主

3月11日の事、私の会社の重要なスタッフの1人が、軽い接触事故の後に突然一過性の記憶喪失になりました。

事故の後、警察に連絡したことも覚えておらず、それから自分の自動車で遠くまで一人で運転していったことも覚えていない状態です。

幸い、家族たちが心配して連絡を取ってくれたおかげで無事に家に帰る事ができたのですが、とてもまじめな彼女にとっては、自分がそのような状態になった事に大きなショックを受けています。

脳外科の病院で診察しても全く異常は見つからず、医者は一過性の記憶喪失と判断したのですが、それだけではないようです。

ロッド星人やグルナレッド達が彼女のエネルギーを使って調べると、現在この地球に大きな時間と空間の歪ができていたことが分かりました。

そしてその中に多くの人が落ち込み、彼女のように一過性の記憶喪失を起こしたり、時間と空間に関するいくつもの混乱が起きているようです。

彼女は幸いにも、物理世界を警備していたプレアディス星人達により救出されましたので、さほど大きな問題にはならず済んだようです。

しかし、この地球に大きな時空の歪みが起きていることが分かりましたので、彼女に開いていたゲートを通して、時空が歪んでいる場所をスターピープル達が調べることになりました。

しばらくすると、グルナレッドが報告にきました。

「TAKESHI さん、時空の狭間に多くの人達のスピリットが捕えられていました。

彼らは、自分たちがどこにいるのか、なにをしているのかも分からない状態です。」

私達はスターピープル達を集めてすぐにスピリットの救出を行いました。まさかこのような場所が地球に作られていたとは夢にも思いませんでした。

そして、私達が更に奥深く探査を進めると、時空の狭間の隠された場所に大変な存在が隠れていたのです。見つけたのは第8評議会の創造主でした。

「TAKESHI さん、大変な存在が隠れているようです。

すぐに上位の創造主達を呼んでください。」

ただならぬ気配に、私も急いで第12評議会から第15評議会の創造主を呼び寄せました。

第15評議会の創造主が中心になって光を送ると、そこにはとても不思議な力を持った創造主が隠れていました。

その姿を見た第15評議会の創造主が驚きの声を上げます。

どうやら第15評議会の創造主がよく知っている創造主のようです。

私は、彼がどのような存在か、第15評議会の創造主に尋ねました。

「彼は、もともと第 14 評議会の創造主の 1 人でした。

この創造主は、第 14 評議会の創造主の中でも特殊な能力を持っている創造主で、時間と空間を自由に扱い奇抜な宇宙の創造を行っていました。

しかしそのことで第 15 評議会の創造主から注意をうけましたし、他の創造主達とも意見が合わなくなりましたので評議会を去ったのです。

それからしばらく経って、私達は、彼の姿を目にしなくなりました。

彼がここにいるという事は、自分が作った時空の裂け目の中に捕らわれてしまったのでしょうか。」

「彼はこの時空の裂け目の中で一体何をしているのですか。」と私は尋ねます。

第 15 評議会の創造主の 1 人が彼に近づき、しばらく話をしています。

「彼はこの時空の裂け目の中に、地球と他の宇宙との間にいくつものゲートを開いて、他の宇宙から創造主やダークピープルを招きいれていたようです。

そして、私達に分からないように、それらのゲートを時空の渦の中に隠していたのです。

彼も、他の宇宙の創造主と同じように、地球のアセンションを快く思っていない創造主のひとりです。」

私達は、この時空の裂け目の中に閉じ込められていた人々のスピリットを救出した後、この創造主を第 17 評議会に渡して、この時空を消滅させてもらう事にしました。

そうすることで、この時空の裂け目の中に開いたいくつものゲートを消滅させる事ができるからです。

PART2 魔法を使うダークピープル

第 17 評議会の創造主が、この時空の歪みを作り出した創造主を調べると、さらにいくつかのゲートを開いていることが分かりました。

そのゲートのひとつは地球のコアにあり、そこから新たなダークピープル達が、もうすでに出てきていました。

グルナレッドが、私の元に報告にきました。

「TAKESHI さん、地球のコアから新たなダークピープル達がたくさん現れてきました。

このダークピープル達は、人々の精神をコントロールすることを得意とするダークピープル達です。

急いで処理をお願いします。」

私達はすぐにスターピープル達を集めましたが、話を聞いてみると第 1 評議会、第 2 評議会のスターピープルではかないそうにありません。

グルナレッドやネターシャ、ブルナレッドなどの第 3 評議会以上のスターピープル達が中心となって彼らを捕えることにしました。

私達は、地球のコアに向かい、ダークピープルの侵入を止めるグループとすでに人間と一体化したダークピープルを人間から分離して光に返すグループに分かれて行動を開始しました。

彼らはすでに人々の意識をコントロールして、人々の中に入り込みつつありますが、まだ人と一体化していないのでネターシャたちが持つ、人間とダークピープルを分離する装置を使って、人とダークピープルを分離してから、彼らを光に帰していきます。

そしてコアに入ったグループは、ゲートを見つけると、そこから出てくるダークピープルを待ち伏せしてすぐに捕らえ、光に返すことにしました。

私達は、高次の創造主と共に、このゲートがどこに続いているか調べます。

ピカフラッシュに、このゲートをさかのぼってもらおうと、地球から天の川銀河を抜けていきます。

そしてそこには、彼らの物と思われる中型の宇宙船が5隻ほどありました。

すぐに創造主をお願いして、この宇宙船の時間をとめてもらいます。

グルナレッドやブルナレッドが、宇宙船に入り込んで宇宙船を調べはじめました。

しばらくするとグルナレッドから報告がきました。

「TAKESHI さん、この宇宙船の中には、地球人のデーターがたくさんあります。

そして愛の度数や能力などを調べる装置もあり、地球人をかなり研究しているようです。

おそらく、地球にとって重要な立場にある人やアセンションしていく人々のデーターが保管されていて、そのような人々を特定して、ダークピープル達が入り込む準備をしていたのだと思われます。」

アシュタールのエレナさんが、グルナレッドの話聞いて答えます。

「グルナレッドさん、エレナです。

ぜひそのデーターを私達で調べたいのですが、私達もそちらに行ってもだいじょうぶですか。」

地球人の守護を担当しているアシュタールのエレナさん達にとっては、これは大変重要なことです。

このデーターを調べると、誰にダークピープルが入り込んでいるのか調べることができます。

「エレナさん、大丈夫ですよ、こちらの宇宙船にいるダークピープル達はブルナレッドさん達が処理してくれましたので安全です。」

確かに彼らは第3評議会クラスのダークピープルのようなので、第1評議会のエレナさんたちでは、彼女達が危険な目にあってしまいます。

私は、グルナレッドに、これらの宇宙船の司令官を見つけたのか、聞いてみました。

「司令官はもちろん捕まえてあります。

司令官は、ダークピープルではなく創造主から作り出されたマスターのようです。

彼らの宇宙を、この船の記録から調べると、地球とよく似た環境を持つ星々がいくつかあります。

しかし地球よりもはるかに高度な科学技術や精神的に多彩な能力を持っている人々がいるようです。」

「その精神的に多彩な能力とはどういうものですか。」

グルナレッドは笑いながら答えます。

「それは皆さんが言うところの魔法です。

サイキックな力を使って物質を他の物に変換したり、自然気象などをコントロールする力です。

おそらく他の人々の意識を覗き見たり、コントロールすることができる力を、彼らは持っているようです。」

「そのような力を持っているダークピープルといえば、アルクツールズのダークピープル達がありますが、同じようなものですか。」

「そうですね、彼らよりもさらに洗練され進化しているようです。」

「彼らの目的はいったいなんですか」

「彼らの宇宙船に与えられた指令を読み取ると、ダークピープル達が地球人に成りすまして、今の地球の未

来を自分達の星の未来に繋げることで、地球の未来を奪い去る計画のようです
そして、地球人を全て自分達の星に移送し、自分達の星の奴隷として使う予定だったようです。」
「そうすると、アセンションした地球の住人はいなくなり、光の地球は空虚なものになりませんか。」
「もちろん。そうなるでしょう。」
そしてアセンションを失敗させる予定だったようです。」

私達は、また深いため息をつきました。
彼等を見過してしまえば、地球のアセンションが失敗するどころか、地球人は、彼らの宇宙に連れて行かれ、
彼らの奴隷にされてしまうところでした。

私達はさらにこの宇宙船に関わっているエネルギーを探索して、この宇宙船に指示を出していた創造主を見つけだす事に成功しました。

彼等もやはり特殊な力を持っている創造主のようですが、ここは第13評議会、第15評議会の創造主の力を借りてすぐに取り押さえることができました。

しかし、彼等が、私達の宇宙に、もうすでにたくさんの罟を張り巡らしていたことがすぐに明らかになりました。

PART3 時空をコントロールする創造主

3月15日の朝、美樹さんが、温泉で芝居を演じる老人たちの夢を見ました。
彼等は、東北の大震災で多くの人達がなくなってしまうというお芝居を、何度も何度も演じ続けているのです。
どうも、福島で亡くなった人達のスピリットがダークピープルによって作られた空間の中に閉じこめられているようです。

私達は、目が覚めるとスターピープル達を呼びだしてこの夢のエネルギーを調べました。
そうすると、夢の中で老人達を見張っていた目つきの悪い若者がダークピープルであることが分かりました。
私達は更に、このダークピープルのゲートを開いて調べると時間を自由に操ることができるダークピープルが数名見つかりました。
彼等は、地球の時間をさかのぼって地球の人々のスピリットと肉体を奪い、自分達の仲間を地球人として生み出していました。

このダークピープルは、紛れもなく先日、地球のコアにつながれたゲートから入ってきた魔法を使えるダークピープル達でした。

私は不思議に思い、ロッド星人達に尋ねました。

「彼等は、ダークピープルでありながらも、時間をさかのぼって活動する事ができるのでしょうか。」
ロッド星人とグルナレッドが、このダークピープルの事を調べながら答えます。

「いえ、彼らは、空間を移動することはできるようですが、時間の中を自由に移動するほどの能力までは持っていないようです。

誰かが、彼らを過去の時代に運び、そこで地球人の遺伝子に操作を加えて、彼らを地球人として生まれ変わらせたようです。」

私達は、「魔法を使う宇宙」の創造主達が、時空の渦の中に隠れているのではと判断し、高次元の創造主の手を借りて探索をすることにしました。

私達は、時間を管理する創造主をお願いして、私達の宇宙の時間の流れを正してもらおうと、時間の渦の中に5名ほどの第10～12評議会並みの力を持った創造主達が隠れていたのです。

彼等は、自由に時間をコントロールできる創造主のようです。

そして、ダークピープルを過去の時代に運び、人として生まれ変わらせ、地球人を現実世界で支配する事を企んだのも彼らのようです。

彼らの計画は、いつの間にか、私達の知らない所で動き始めていました。

その後も「魔法を使う宇宙」の創造主達は様々なところから現れ、人々を新しい地球に輸送することを邪魔したり、地球のコアを攻撃するなどして、私達にも大きなダメージを与えてきました。

また黄泉の世界にも創造主達は入り込み、光の世界に行くべき人を黄泉の世界の中に連れ込んだり、黄泉の世界のゲートを大きく開いて、この地球にネガティブなエネルギーを送り込んだりもしてきました。

この時も、すぐに私達の創造主や大天使たちが黄泉の世界に向かい、リセットの創造主とともに黄泉の世界を立て直したので大きな被害はなかったのですが、「魔法を使う宇宙の創造主」は、非常に能力が高くなかなか片付けることができません。

第15評議会の創造主達も、彼等が地球のアセンションに関わってきた事で、彼らの事を問題視して調べはじめました。

すると彼らは、私達の宇宙だけでなく他の宇宙も同じように侵略していたことがわかり、彼らの宇宙は、良い創造主のみを残して他の創造主は全て光に返すこととなったのです。

PART 4 ハイブリッド・ダークピープルとハイブリッド・スターピープル

3月19日の事、「魔法を使う宇宙」の創造主達が仕掛けてきた冷酷な罠が私達の前に牙をむいて襲いかかります。

「魔法を使う宇宙」の創造主達のたくらみで、この地球に、ダークピープルの遺伝子と地球人の遺伝子が掛け合わされた子供達が生まれてきていることが判明したのです。

私はこの日の明け方、アジアの女性達が集められて、お金をもらって子供達を生んだり、若い女性達が誘拐されて無理やり子供を生まされている様な場所の夢を見ました。

また美樹さんは、同じ時間に、アメリカやヨーロッパの裕福な国で、不妊に悩む家族や優秀な遺伝子を求める家族にダークピープル達が医者をコントロールして、魔法の宇宙やカオスの宇宙などの創造主の遺伝子を持つ子供達を受胎させている夢を見たのです。

目が覚めるとすぐに、スターピープルと創造主を呼びだして調べると、「魔法を使う宇宙」の創造主達が時間をさかのぼって、およそ20年以上前の時代から現代にわたって、ダークピープルと地球人の遺伝子を掛け合わせたハイブリッド・ダークピープルを大量に生みだしていたことが分かりました。

アジアでは、貧しい家庭の女性達が自分達の生活資金を稼ぐために、ダークピープルと自分達の遺伝子を組み合わせた子供達を生み育てていました。

彼女達は、十分なお金と食べ物が与えられたために、喜んでダークピープルの子供を産み育てるという仕事をしていたのです。

あるいは、テロリストや異なる種族の人たちから侵略された村では、若い女性達が誘拐され、施設の中に集められ、レイプされるとともに、子供を生み育てることを強要されました。

その様な施設では、初めからテロリストと同じような教育をダークピープルの子供たちは受け、若い時から戦闘員として働かされたのです。

またアメリカやヨーロッパの裕福な家庭では、少しでも優秀な子供達が欲しいために、社会的・経済的に大きな成功をおさめた人の遺伝子がこっそりと売買されていました。

そしてその遺伝子を使って子どもをつくり、優秀な後継者として育てるという事を彼らは考えていたのです。また子供がいない家庭には多額のお金と引き換えに優秀な遺伝子を持つ子供達が引き取られていきました。しかし、その優秀な遺伝子とは、地球とは異なる宇宙の創造主達の遺伝子やエネルギーでしたので、地球人にはない特別な能力や資質を持っていましたが、人間としての感情は十分に育つ事はありませんでした。

その様な方法で生まれた子供達は、生まれながらにして、異なる宇宙の創造主のスピリットを持つ事になります。

そのスピリットが目覚めれば、たとえ子供であったとしても、一般の人よりもはるかに優れた知性や能力を持つことになります。

そして大人になるにつれ、彼らはずば抜けた才能を発揮するようになり、彼等によってコントロールされた人達を利用して巨大な経済力や権力を手にすることになるのです。

彼らは冷酷無比な性格で、自分に敵対する人々を次々と傷つけ蹴落としていきます。

もちろん、彼等と共に働く人々は、同じような野心と欲望を持った人々ですので、彼らも次々とダークピープルと一体化していきます。

彼らは、やがて巨大な経済力や政治力を背景にして大きな影響力を持ち始め、地球の人々の心を次々と支配していきます。

「魔法を使う宇宙」の創造主達は、地球の歴史をさかのぼり、人と一体化した創造主やダークピープルを生みだし、地球を裏側から支配してきたのです。

そして、地球がアセンションを迎える今の時代に焦点をあわせ、アセンションが成功しないように、様々な仕組みを作り出し実現してきました。

異なる宇宙の創造主やダークピープルの遺伝子を持って生まれた人達は、その遺伝子の提供者である創造主やダークピープルが現われることによって、自分達の遺伝子が活性化させられ、創造主やダークピープルのスピリットが目覚めてきます。

そして、異なる宇宙の創造主の指示のもとに、アセンションを妨害する為に、一挙に暴れはじめたのです。

ハイブリッドの子供達は、今迄、彼らの本質を完全に隠し、善良な市民として生きてきたために光59%の世界にも入り込んでいました。

そしてこの世界を壊滅させるために、この時期に目覚め、地球の人々を混乱へと陥れたために活動を始めたの

です。

私が仕事から帰ってくると、ロッド星人達が私のもとに報告に来ました。

この頃は、私は朝から夜まで会社に行ってアセンションに関わる仕事ができなくなりますので、朝と夜に必ずスターピープルや創造主から、アセンションの状況を報告してもらい、問題があれば解決するようにしています。

「これから新しい光59%の世界に、地球の人々を移送しなければならないのですが、思ったよりも人々の感情が大きく噴出してきており、それがうまく処理できません。

このままだと大きな地震や火山噴火が起きることになります。

私達は、その感情を放出しようと一生懸命働いているのですが、なかなか思ったように進みません。」

私も人々の感情の開放が進まないことに疑問を抱いたので調べてみると、人々の潜在意識に強力なエネルギーが関わってきていることが分かりました。

それも、外からでなく同じ地球人から送られているエネルギーのようです。

私達は、そのエネルギーをたどっていくと、そこにいたのは地球人と一体化したハイブリッド・ダークピープルの子供達でした。

地球人として生まれてきたハイブリッド・ダークピープル達は、地球人の感情をコントロールし、ネガティブなエネルギーをどんどんため込み、大きな地震や火山噴火等、地球にとって潰滅的な大災害を起こす計画を立てていたようです。

他にも、複数のダークピープル達は人々の感情の集合意識の中に隠れこみ、人々のエネルギーを隠れみのにして隠れていました。

私達はすぐに、各評議会の創造主達にお願いして、彼らを捕まえてもらいました。

私達は、何度もピカフラッシュを中心に創造主やダークピープルの探索を行って、彼らを見つけ出しましたが、やはりまだ様々な場所に隠れているようです。

しかし、この地球上には大きな問題が残りました。

現在地球の各地で創造主やダークピープルの遺伝子を持つハイブリッド・ベイビーが生まれてきており、時間をさかのぼって生まれた者はもうすでに成人になっているのです。

彼らは感情や理性のコントロールがあまりできないので、感情が高ぶったときには非常に暴力的になり、回りの子供達や地球人として生まれてきたスターピープル達を攻撃するようになっていました。

私は、このハイブリッド・ベイビーたちの処理をどうするか、相談しました。

「各評議会の創造主よ、地球にはたくさんのハイブリッド・ベイビーたちが生まれてきています。

彼等はその能力も高く数も多いようです。

現在、アセンションに関わっているスターピープル達は自分達の仕事で精一杯で、彼らの処理をする余裕もありません。」

創造主達も集まって相談しています。

「TAKESHI さん、これもまた大きな問題です。

彼等は、本来、皆さんの宇宙や地球に関わるべき者達ではありませんでした。
彼等が地球に入り込むことで、地球と皆さんの宇宙は大きな影響をうけてしまいます。
彼等は、地球人よりもはるかに大きなエネルギーとパワーを持っています。
彼らの多くが目覚めてくると、今の地球は大きな混乱を起こします。
それがたとえディセンションした世界であっても、ハイブリッド・ベイビーたちを地球に残しておくわけにはいきません。
しかし、彼らは地球の物理次元に生れていますので、光に返すこともできません。
出来るとすれば、彼らが本来持っている能力を奪って普通の地球人として暮らせるようにすることです。
もちろん、彼ら専用の世界をつくり、能力が高いスターピープルが指導していく必要があるでしょう。」

「創造主の皆さん、大変貴重な意見をありがとうございます。
それでは、彼らの処理と指導を誰に任せればよいでしょうか。」
「そうですね、現在の第1、第2、第3評議会のスターピープルよりも能力が高く、また現実世界でもしっかりと働けるスターピープルでないといけません、現在その様なスターピープルは見当たらないのです。」

「それでしたら、新たなスターピープルを生み出す許可をいただけませんか。
ダークピープル達を探し出す探査能力や科学力と彼らの指導ができるパワー、そして地球上で自由に活躍する能力を持ったスターピープルを作り出しましょう。」
私は、第8評議会のブルナレッド、第4評議会のネターシャ、第3評議会のグルナレッド、第2評議会のロッド星人を呼びだしました。
「これから、ハイブリッド・ダークピープル達の処理を行う為に、皆さんの遺伝子と私の遺伝子をひとつにしたハイブリッド・スターピープルを生みだしますので、協力してもらえませんか。」
彼等は喜んでうなずきます。
もうすでに、彼等も自分達の能力をはるかに超えた仕事をしてきているので、これ以上の負担をかける訳にはいきません。

私達は、スターピープル達と手を組み目を閉じます。
各評議会の創造主が、私達に特別な光を満たします。
特に愛を司る創造主達は、私達の上空に大きな円を描くように集まり、遺伝子融合のエネルギーを送っていきます。
すると大きな光が私達を包み、私達の周りに、新しい光がいくつも生まれ始めました。

「TAKESHI さん、どれほどの数のスターピープルが必要ですか。」愛の女神が私に問いかけます。
「そうですね、彼らは地球だけでなく、他の星々の救援にも行く必要がありますので、100人のグループを100組ほど作って頂けませんか。」
「わかりました。」女神達がさらに大きな光を降ろし始めました。
私達の周りで無数の光が輝き、ハイブリッド・スターピープル達がどんどん生まれてきます。
この儀式は一晩中続き、およそ1万人のハイブリッド・スターピープル達が生み出されました。
そして彼らは、さっそく様々な情報を受け取り、ハイブリッド・ダークピープル達をさがしに飛び立っていました。

しかし、彼らが、ダークピープルとしての側面を目覚めさせていないからと言って、これほど多くのダークピープルと一体化している人々が光の多い地球に生まれ育ってきている事自体が不思議です。

この世界で生きていくためには、スターピープル達が何度も愛の度数を計測し、一定の数値以上の人でなければ入れないはずですが。

私達は、アシタールのエレナさん達と相談して、その理由を調べる為に、ダークピープルとしてすでに目覚めた人達の愛の度数を図ってみました。

エレナさんが計測値を見て、目を丸くしています。

「TAKESHIさん、一体どうしたのでしょうか、このダークピープルでさえも、通常光59%に入れる地球人の愛の度数値を超えています。

この数値であれば、もうダークピープルとしては存在できないはずなのですが。」

その数値を不審に思ったグルナレッドやネターシャー達がダークピープルの波長と愛の度数の波長を調べています。

「エレナさん、このダークピープルから独自の波長が出ていることが分かりました。

その波長は、愛の度数の計測器にとっては愛の波長と同じように扱われているようです。

もちろんダークピープルの波長は、愛ではないのですが、愛の度数計測器を欺くように、この波長が仕組みられています。

もしかしたら、科学技術が進んだダークピープルが皆さんの愛の計測器を調べて、愛の度数が高くなるような波長をダークピープルに備えさせたのだと思います。」

エレナさんは、「またやられた！」という顔をしています。

「私は、第1評議会に連絡して、愛の度数の計測器を至急回収してつくり変えたいと思いますので、どのように作り変えればよいか、グルナレッドさん達で指示をしてもらえますか。」

「わかりました。

このダークピープルの波長を調べて計測器に組み込めば、本物の愛の波長とダークピープルの波長が分離できますので、人々の本物の愛の度数が図れるだけでなく、偽物の愛の波長を持っているダークピープル達が瞬時に区別できるようになりますよ。」

「それは助かります。

愛の計測器がダークピープルの発見装置にもなるわけですね。」

その会話を聞いて、私も一つアイデアを出します。

「そしたら、このダークピープルの波長を広い範囲で見つけだす大型の計測器も作りましょう。

これを宇宙船や地球の各地域に設置すれば、広範囲にいるダークピープル達を発見することも出来ませんか。それができれば、さらにたくさんのダークピープルを捕まえることができると思います。」

「そうですね、大型の計測器も私とエリシタールの方で作らしましょう。」とグルナレッドは答えます。

エリシタールやグルナレッドたちがダークピープルの周波数を分析して、ダークピープルをつかまえる機械を作りあげたようです。

またエリシタールは、ハイブリッドのダークピープルがつながっている集合意識をコントロールして、彼らをスターピープルにするための方法も研究中です。

ただし現状では、彼らを見つけ次第、光の世界とは異なる場所に分離することしかできないようです。

第5章 「すべての闇を生み出す創造主」

PART1 第16評議会、謎の創造主達

3月23日の事、私達の体がやけに重く、花粉症の症状が、いつもよりもきついように感じられたので、その原因を調べることにしました。

科学力に優れたグルナレッドやエリシタール達が、大気中に飛散している花粉や人の体の中に入った花粉を調べると、たんに地球の化学物質である排気ガスやPM2.5などによって花粉の化学成分が変化しているだけでなく、花粉の中に今まで地球では見られない物質が混入していることが分かりました。

それは、ウイルスと同じくらいのサイズの生命体ですが意思を持った生命体であることが分かりました。まるでウイルスサイズのダークピープルの様な存在です。

その存在を調べると、高度な科学力を持っているダークピープル達によって作り出されたウイルス型のダークピープルであることが分かりました。

「TAKESHIさん、ダークピープル達は花粉の中にダークウイルスを混入して、その花粉を吸った人々の意識のかく乱を起こしていたことが分かりました。

地球人は、これは花粉症の症状であると疑いもしないのですが、その実は花粉症よりも厄介な症状が地球人に出ているのです。

地球人の中に、このダークウイルスが入り込むと、地球人の思考回路は乱され正常な判断ができなくなります。

そして訳もなくイライラしたり、怒りや不満がたくさん沸き起こって周りの人々とトラブルを起こしてしまいます。

大したことではないように思えるかもしれませんが、その様なエネルギーがたくさん蓄積されることで、地球のエネルギーのバランスは崩れ、地震や大きな災害が起きやすくなってしまいます。」

「もちろんこれは軽視できない問題です。

私も体調が悪く思考力も落ちている感じがします。

早く処理しなければ、地球の人達に大きな影響がでてくることでしょう。」

私達は、急いでこの問題を創造主に報告し、スターピープル達にこのダークウイルスの除去をお願いするとともに、このダークウイルスを誰が作り出したか調べることにしました。

すると、今まで私達の前に現われた創造主以上にネガティブなエネルギーを持った存在達が浮かび上がってきました。

その様子を見守っていた第17評議会の創造主達が、慌てて会議を始めました。

聞き耳を立てていた美樹さんに、彼らの話が断片的に聞こえてきます。

「何故彼等がこの宇宙に現われてきたのだろうか、あの時完全に隔離したのではなかったのか。」

「いや、あの時、彼らのゲートを少しだけ開いておけ、という事ではなかったのか」

「だから、私達は完全に閉鎖しようと言っていたのに」

どうやら第 17 評議会の創造主達も少し混乱しているようです。

私達は、第 17 評議会の創造主達に、この新しく出てきた存在達は一体誰なのか説明を求めました。

1 人の創造主が私達の方を向いて説明を始めました。

「この創造主は、第 16 評議会の創造主達です。

といっても正当な創造主というよりも、創造主の学びのために作られた創造主です。

そのために正当な創造主とは正反対の性格を持ち、考え方も行動の仕方もかなり異なっています。

もちろん彼等が存在することで、正当な創造主が作り上げた宇宙の中で、様々なトラブルが生まれてきますので、正当な創造主はそれを解決する事で成長していく事になります。」

私達は内心、ギョッとしました。

何も第 16 評議会という高い位置に、このような創造主を作り出さなくても良いのではないかと思ったのです。

第 16 評議会と言えば、全ての宇宙を統括する立場の創造主達です。

いうならば、全ての宇宙の最高責任者のような立場であり、時間や空間、創造のエネルギーなどすべてを司る立場の創造主達です。

しかも第 15 評議会を含め、それ以下の創造主は、第 16 評議会の創造主に絶対に従わないといけなくて、彼等が、本来の指示とは異なる内容の指示を出したら、其れだけで大変なことが起きてしまいます。

最も彼等は、創造主を成長させるために生み出されたのですから、間違いなく下位の創造主達を混乱させ横暴な事を行うでしょう。

「確かに、創造主を成長させる為に作り出した創造主であっても、やっていい事とやってはいけないことがあります。

私達は、彼等が皆さんの宇宙に影響を与えないように、皆さんの宇宙とは異なる宇宙の中に彼等をおき、皆さんとは接触がないようにしていたのですが、どうして、彼等が皆さんの宇宙の中に入り込んできたのか、不思議なのです。

どこかで過ちがあり、彼らの世界と皆さんの世界の一部分がつながって、そこから入り込んできたようです。」

第 17 評議会の創造主達が、不思議だと言っても、こちらとしてはいい迷惑です。

何故このような創造主を作り出したのか、私は第 17 評議会の創造主達に不満をぶつけています。

そのために私達のアセンションがまた遅れてしまったのですから。

私達に送られてくる妨害エネルギーを調べていくと、第 16 評議会の創造主達の存在が明らかになり、4～5名の創造主達が見つかりました。

第 17 評議会の創造主はすぐに、彼らを光に返しましたが、どうやらこの程度ではすみそうもないようです。

翌日の事、ロッド星人達から、地球の人々の感情が蓄積されて大きな地震が起こる可能性がある事を伝えられました。

第 16 評議会の創造主達が現われたばかりですから、彼等が何かを仕掛けてきた可能性もあります。

私達が、地球のコアに行くと、人々の感情のエネルギーが大きな渦を作りコアを傷付けていました。

更に、人々の感情のエネルギーを調べるとそのエネルギーを操っていた3体の大きなドラゴンが感情のエネルギーの背後に発見されました。

そのドラゴンのエネルギーがあまりにも大きいので、すぐに各評議会の創造主を呼び出して調べてもらいま

す。

第 15 評議会の創造主が私達の問いに答えてくれました。

「私達も、この種類のドラゴンは今まで見たことがありません。

これだけ大きな力を持ちながらも、物理世界に入り込める能力と人々をコントロールする能力を持ったドラゴンは、昨日光に返された第 16 評議会の創造主達が作り出したドラゴンである可能性があります。

彼等が光に返されたことで隠れることができずに現れてきたのでしょう。

このドラゴンは、地球の人々のネガティブな感情のエネルギーを利用して、コアにダメージを与え、大きな地震や火山噴火を起こす役目を担っていたようです。」

私達はすぐに第 17 評議会の創造主達に来てもらい、このドラゴン達の力を抑えてもらいます。

彼等进行处理する前に、このドラゴンのゲートを開き、第 16 評議会の創造主やダークピープルが残っていないかを探索する必要があります。

ドラゴンのゲートを使って、グルナレッドやブルナレッドそしてハイブリッド・スターピープル達が、地球上をくまなく探し始めました。

第 17 評議会に尋ねると、未だ数名の 16 評議会の創造主が残っているようです。

しかも、それだけでなく第 16 評議会の創造主達が作り出した創造主達もいるかもしれないとのこと。

本当に、涙が出るくらいありがたい忠告です。

手分けして探すと、彼らはすでに、その一部を地球に降ろし地球人として活躍していることが分かりました。グルナレッドが、その報告をするために急いで戻ってきました。

「TAKESHI さん、もうすでに数名の第 16 評議会の創造主達は、時間をさかのぼって地球人として生まれ活動しています。

おそらく彼等は 30 年から 40 年以上前にさかのぼり、地球人として生まれてきたようです。

そして成人すると、彼等が本来持っていた特殊な能力を駆使して、力を得、その世界でも著名な人物となって多くの人々を従えているようです。」

「彼等はどのような世界に入り込んでいるのですか。」

「いつものように、彼等が大好きな政治・経済、そして宗教やスピリチュアルの世界に入り込み教祖的な存在となって多くの人々の尊敬を集めています。」

「彼等は、自分達のスピリットが創造主であると知っているのですか。」

「いえ、まずそれはないと思います。

第 16 評議会の創造主達は、自分達の正体が知られないほうが、その人をコントロールしやすいのです。

人々は、この世界で成功をおさめたのは、自分の能力と努力によるものと思っていますから、さらに成功する為に努力を重ねます。

そして、さらに欲望を募らせていくのです。

創造主達は、その様な地球人の欲望を利用しますので、彼ら自身も本当の事は知らされていません。

そして人間が気付かないスピリチュアル・レベルで、創造主としての大きな仕事を行っているのです。」

彼らのゲートを開くと、信じられないくらいのダークピープル達も発見されました。

ハイブリッド・スターピープル達も忙しそうに働き、次々とダークピープル達を捕えています。

人と一体化していないダークピープル達は光に返されますが、人と一体化したダークピープルは、能力が非常に高いため、その能力を封印されたうえで、特別な場所に分離されることとなりました。

もちろん、彼等を地上に降ろした創造主達も発見することができましたが、地球に人として生まれてきた創造主は、物理世界に生きていますので、光に返すことができません。

彼らは、第17評議会の創造主からその能力を全て奪われて普通の人間として生きていく事になりました。私達は、様々な場所に隠れている創造主をあぶりだすために、惑星型宇宙船で鎮静の波動を地球上に流すことで、創造主達を見つける仕事にかかりました。

PART2 地球の至る所に隠れていたダークピープルの宇宙船。

正当ではない第16評議会の創造主達が生み出したダークピープル達が、様々な場所にまだ隠れているようです。

彼らは、地上の人々に様々なエネルギーを送り、地球人達のネガティブなエネルギーが、噴出してくるように仕掛けています。

また力を持ったダークピープルによって、地球のエネルギーを適正なものにするドラゴン達も傷つけられ、大地のエネルギーの乱れも大きくなりました。

人々の荒れ狂う感情のエネルギーと歪められた大地のエネルギーによって、各地で大きな地震が起こりそうな気配です。

その様な中、惑星型宇宙船から送られた鎮静のエネルギーによってあぶりだされたダークピープル達が、私達にサイキック攻撃を仕掛けてきました。

それは、私達だけでなく子供に対してもエネルギー攻撃が行われ、子供がそのエネルギーに耐え切れず泣き止まなくなりました。

ピカフラッシュを使って彼らのエネルギーを探知すると、彼らは、黄泉の世界に逃げ込んでいた事がわかりました。

私はすぐに、黄泉の世界を守護するマーベリックとアメリア、そして黄泉の世界を担当する大天使や創造主を呼び出しました。

「どうやら第16評議会の創造主達が作り出したダークピープル達が黄泉の世界に逃げ込んだようです。すぐに探し出してください。」

彼らはすぐにピカフラッシュとともに黄泉の世界にむかい、ダークピープル達を探し出しているようです。

私達は見つけ出したダークピープルの1人が日本の近くにある深い海溝の中からやってきたことを突き止めました。

この場所は、海底地震が良く起きる場所です。

もしかしたら、海底地震とダークピープル達に大きな関係があるのかもしれませんが。

私達は、スターピープルを引き連れて海溝に向かうことにしました。

「もしかしたら、海溝の中にダークピープル達の基地や施設があるかも知れませんね。」と私は言います。

「確かにその可能性は大きいと思います。」

これで彼らの施設などを発見できれば良いのですが。」

私達は、エネルギーのラインがつながっている場所を懸命に探したのですが、そのあたりにダークピープル達の基地や施設は見つかりません。

「もしかしたら特殊な遮蔽装置を使って隠れている可能性もあるので、いくつも電波や電磁波、光を送り、空間の歪みがないか調べてみましょう。」

私達の惑星型宇宙船から、この付近一帯に様々な周波数の電波が送られます。

しばらくするとグルナレッドから連絡が入りました。

「TAKESHI さん、微妙な空間の歪みを発見しました。

さらにこの周波数を強くして送りますので、その場所に向かってください。」

私達は、グルナレッドに指示された場所に向かいました。

すると、そこには遮蔽装置を使って隠れていた中型の宇宙船が浮かび上がってきたのです。

彼等が逃げられないようにすぐに時間を止めて、宇宙船に乗り込むと、それは100人ほどのダークピープル達が乗った宇宙船でした。

これは第16評議会の創造主の部下であるダークピープル達を作った宇宙船で、その場所にある物質と完全に同化して姿を隠す特殊な遮蔽装置を持った宇宙船でした。

ロッド星人がこの宇宙船を調べながらいます。

「これほどレベルが高い遮蔽装置を持った宇宙船は見たことも聞いたこともありません。

これは、私達の科学レベルでは到底見つけることができない宇宙船です。

私達も、ダークピープル達を追いつめても、すぐにどこかに消えてしまうし、予期しない場所からいつも現れてくるので、不思議に思っていたのですが、このような姿を隠すことが得意な宇宙船があったのでは、それも納得できます。」

私達が、何度も何度も彼等を探し捕まえても、またどこからか現れてくるのは、ダークピープル達が、この宇宙船の中に隠れていたからだったようです。

この宇宙船の中に隠れ、大地や空と同化してしまえば、さすがにピカフラッシュたちでも捕まえることができなくなります。

私達は、この宇宙船を作っている物質に注目し、この物質の波動を研究し、この波動を持つ宇宙船を発見する機械を急いで作りあげるようグルナレッドやエリシタールにお願いしました。

しばらくするとグルナレッドから連絡が入ります。

「TAKESHI さん、準備ができましたよ。

惑星型宇宙船から、この宇宙船を発見する周波数を出しますので、地球に存在している宇宙船が全て浮き上がってくると思います。

彼らの座標も送りますので、すぐに捕まえにしてください。」

するととんでもない数の宇宙船とダークピープル達が海底にある海溝や火山等様々な場所に隠れていることが分かりました。

「グルナレッド、これだけの数の宇宙船が、海溝や火山に集まっていたのは何故ですか。」

「彼等は、仲間の創造主やダークピープル達が光に返された復習のために、大規模な海底地震と津波を引き

起こす計画を持っていたようです。

あるいは、世界各地の火山を噴火させて大きな災害をもたらそうと考えていたかもしれません。

どちらにしても、それが起きてしまえば、地球と地球人にとって壊滅的なダメージを与えられますからね。スターピープル達が、どれほど人々の感情を浄化しても、地球の緊張が高まり、今にも大地震が起きそうになっていたのは、このダークピープルの宇宙船から地球のエネルギーが操作されていたためでしょう。」横で、ロッド星人たちが深くため息をついています。

ハイブリッド・スターピープルと地球のアセンションをサポートしてくれているスターピープル達そして各評議会の創造主達は各グループに分かれ、地球に隠れているダークピープルの宇宙船を探し回りました。深い海溝、世界に散在する火山、人口が密集した都市、テーマパーク、荒野や砂漠、地球上の全ての場所に、多くの宇宙船が隠れていましたが、やがてすべての宇宙船が発見され、創造主によって光に返されていきました。

しかし、ひとつ気になる事があります。

それは、これらの宇宙船の司令船が見つかっていない事です。

発見された宇宙船は、すべて同じ型の物で、とりわけ他の宇宙船に指令を出している司令官が乗っている様な雰囲気はありませんでしたので、どこかに司令船が隠れている可能性があります。

PART3 第16評議会の闇の皇帝「すべての闇を生み出す創造主」

私達は、司令船を見つけるために、中型宇宙船からエネルギーのラインを辿って行きました。

すると地球のはるか上空に、完全な遮蔽を行ない姿も気配も隠した大きな惑星型宇宙船が隠れていました。先日、4つの異なる宇宙から逃げ出して、地球を侵略しようとしたダークピープル達が乗り込んでいた惑星型宇宙船と似ていますが、その惑星型宇宙船よりはるかに大きく進化している宇宙船です。

第16評議会の時を管理する創造主をお願いして、この宇宙船の時を止めてもらおうと高次の評議会に属するスターピープル達がすぐにこの宇宙船に乗り込み、中を調べ始めました。

第8評議会のブルナレッド達が中心となって中に入り、それよりも下の評議会のスターピープルは周りを取り囲み状況を見守っています。

ブルナレッドから連絡が入りました。

「TAKESHIさん、この宇宙船はとんでもない規模と技術力を持っています。

私達にも理解できないシステムばかりなので、第10評議会以上のスターピープル達が専門に調べています。

私達が以前押収した惑星型宇宙船は、この宇宙船をモデルにして作られたのは間違いのないようです。

この惑星型宇宙船ほど進化していませんが、この宇宙船のいくつかのシステムを使用して作られたようです。しかし、驚くほどの大きさや技術力です。

特に、宇宙船の姿を隠す遮蔽技術は、さらに進んでいます。

おそらく、私達がこの宇宙船を見つけられたのは第17評議会の創造主達が、この宇宙船の遮蔽装置のシステムを停止させたからだと思います。

そうでなければ、私達には到底発見することも捕えることも出来ませんでした。」

「第 17 評議会の創造主達が、この宇宙船のシステムを停止させたのですか。」

「おそらくそうでしょう。」

この宇宙船は、第 16 評議会の創造主達のエネルギーが使用されていますので、第 17 評議会の創造主達でなければ、この宇宙船を止めることはできません。

そして、この惑星型宇宙船はやろうと思えば、地球や天の川銀河を一瞬で吹き飛ばすだけの破壊力を持っています。

しかし、私達を含め地球がまだ残っているという事は、第 17 評議会の創造主達がこの宇宙船の動きを止めて、私達が発見しやすいようにしてくれたのだと思われれます。

そうでなければ、もうすでに私達の生命は消えています。」

多くの創造主とスターピープル達は、今度も命拾いをしました。

このアセンション、本当に命がけの仕事です。

「ブルナレッド、この宇宙船も動力源を変えれば、私達が使えるようになりますか。」

エレナさんやガジェット達が、この宇宙船に乗りたくてうずうずしているのが、私にも伝わってきます。

ブルナレッドが、さらに高次のスターピープル達と相談しています。

「この宇宙船の動力源の解明が今終わったのですが、とても大きなネガティブ・エネルギーを基にして動いているようです。

そのために、宇宙船自体も大きなネガティブなエネルギーに満ちあふれ、宇宙船に乗る者達をネガティブなエネルギーに同化しているようです。

リーダーからすぐにスターピープル達を退去させ、15 評議会のスターピープルだけで中を調べると連絡がありました。

これは、動力源そのものがネガティブな意思を持っていますので、この宇宙船に乗り込むだけで、スピリットもエネルギーもダークエネルギーに同化されてしまいます。

しかも、この宇宙船が創造主達の意思とひとつになっていますので動力源を変更することは不可能なようです。」

先ほどまで、この惑星型宇宙船に乗りたいと騒いでいたエレナさん達の会話がピタッと止まりました。

「私達、やっぱり遠慮しておきます。」とってさっと退避していきました。

この宇宙船は、近くによるだけでも大変なダークなエネルギーを発しているようですので、第 15 評議会のスターピープル以外はすぐにその場からはなれることになりました。

私は、第 15 評議会のスターピープルに、この宇宙船を操っている創造主を探し出せないかお願いしました。

第 15 評議会のスターピープルは、宇宙船の司令室のような所に入り、この船の司令官を探し出しました。

おそらくこの船を操る創造主は、船の司令官と意識が一つになっている可能性があるので、司令官を調べると創造主も見つかるかもしれません。

「TAKESHI さん、見つかりました。

とても強大なパワーを持っている創造主です。」

その時すでに第 17 評議会の創造主達は、この船を操る創造主を発見し捕まえたようです。

「第 17 評議会の創造主達よ、この宇宙船の大群を地球に送りこみ、ダークピープルたちに地球を支配させようとしていた創造主はどのような創造主だったのですか。」

第 17 評議会の創造主の 1 人が答えます。

「皆さんには、大変なご迷惑をかけて申し訳ありませんでした。

この創造主は「全ての闇を生みだす創造主」と呼ばれている創造主です。

彼は第 16 評議会の闇の創造主の中でも最大の創造主で彼らのリーダー格の創造主でもありました。

この創造主のエネルギーによって、この宇宙船も動き、多くのダークピープル達も活動するエネルギーを得ていた事に間違いはありません。

私達は、この創造主が捕まっていないことを大変危惧しておりましたが、ようやく見つけられたことに安心しております。」

創造主達が、この創造主のゲートを開いて調べると、彼が作り出した強力なダークピープル達も多数発見されました。

しかも、そのダークピープルは第 15 評議会の創造主達と同じレベルの力を持っていたために、予想以上に強力で、第 15 評議会以下のスターピープルは勿論、私達が先日作ったハイブリッド・スターピープルでも手におえません。

彼の力は大きく、私達の地球だけでなく、天の川銀河全体にまで及び、地球とこの宇宙のアセンションを徹底的に妨害する為に、活動しているようです。

第 2、第 3 評議会のスターピープル達が調べると、地球だけでなく他の星々にも、この創造主の宇宙船が派遣されていることが分かりました。

「第 17 評議会の創造主よ、この「全ての闇を生みだす創造主」の手下であるダークピープルが地球だけでなく他の星々も侵略しようとしているようです。

しかし、私達の宇宙のスターピープルでは、もはや太刀打ちができないようです。

私達は天の川銀河レベルで、この創造主の手下であるダークピープル達を処理する為に、第 15 評議会のスターピープルを中心に、彼等を探査し光に返すことができるスーパーハイブリッドスターピープルを生みだしたいと考えていますが、御許可をいただきたく思います。」

「TAKESHI さん、このような状況になった今、あなたが言うように、第 16 評議会の創造主達が作ったダークピープルを野放しにしておくと、地球のみならず皆さんの宇宙が崩壊してしまう事は間違いありません。許可を与えますので、優秀なスターピープルをつくってください。」

私は、第 15 評議会のスターピープルのリーダーにお願いして、異なる能力を持つスターピープルを各評議会から集め、スーパーハイブリッドスターピープルをつくる事にしました。

リーダーが集めたえりすぐりのスターピープルの遺伝子や光をひとつにして輝くばかりのスーパーハイブリッドスターピープルが生まれてきました。

彼等は、地球を中心として、天の川銀河の様々な星で、この第 16 評議会の闇の創造主達が作ったダークピープル達と立ち向かう事になりました。

しばらくして、この創造主は光に返され、地球のエネルギーもきれいに晴れ渡ってきたようです。

第 17 評議会の探している創造主はこれですべて捕まえたことになりましたが、彼らに気づかなければ、地球のみならず天の川銀河すべてが崩壊するところでした。

第6章 第17評議会の創造主の決断

PART1 異なる宇宙の「時空を管理する創造主」

私達は、「全ての闇を生み出す創造主」を捕え、多くのモンスタークラスのダークピープル達も処理することができましたので、4月からは予定通り、光を持った地球人を新しい光59%の世界に移送することができるのでは、と思っていましたが、なかなか私達の思うようにことは進みません。

朝、出勤する時に、私の体全身に重たいエネルギーを感じました。

まるで私自身を包み込み捕らえるようなエネルギーです。

美樹さんをお願いして、私の周りのエネルギーを調べてもらおうと、私達が本来行くべき未来とは異なるパラレルワールドが私につながっていたようです。

それは古代エジプトのファラオ達が存続している世界で、ファラオ達に向けられた民衆の期待や不安、そして怒りなどが重苦しいエネルギーとなって、その世界を覆っていました。

私の仲間である古代ファラオ達を呼び寄せると、確かに同じようなエネルギーを自分達も体験したことがあると語っていました。

このエネルギーはかつてエジプトの民衆達を操り、ファラオ達に対する反乱を起こさせ、ファラオたちを傷つけ苦しめていたようです。

しかし、これからの光の地球にはまったく無縁な世界ですので、私につながっているという事は、誰かが意図的に私の動きを封じ込めるためにつないだとしか思えません。

私は、第8評議会の創造主をお願いして、このパラレルワールドと私を切り離してもらい、誰がこのパラレルワールドと私を結び付けたか調べることにしました。

「流れを作る創造主」と第16評議会の「全ての時と空間をつかさどる創造主」に来てもらい、私の時間をさかのぼって調べます。

やがて、一人の創造主が浮かび上がってきました。

その創造主の姿を見た「全ての時と空間をつかさどる創造主」が少しあわてています。

「この方は、私と同じ第16評議会の創造主ですが。

まさか、彼が直接 TAKESHI さんに関わってくるとは考えがたいのですが。」

「全ての時と空間をつかさどる創造主」はそのように行って、すぐに第17評議会の創造主のもとに報告に行きました。

取り残された私達は、いったいどうなっているのか、理解できません。

しばらくすると、第17評議会の創造主が、1人の創造主を連れて私の元に現われました。

「TAKESHI さん、本当に申し訳ありませんでした。

この創造主は異なる宇宙の時と空間を管理する創造主です。

彼は非常に優秀でまじめな性格の創造主で、私達も信頼している創造主なのです。

彼の役目は非常に重要なので、私達も彼を残しておいたのですが、本当に申し訳ありませんでした。」

「ということは、私に異なるパラレルワールドをつないだのは、彼の本意ではなく、あの闇の創造主達に操られていたという事でしょうか。」

「そのとおりです、この創造主の中から「全ての闇を生みだす創造主」のエネルギーが見つかりました。この創造主は、第16評議会の闇の創造主達に操られて、異なる宇宙と皆さんの宇宙のゲートを開くことを認めたようです。

本来は、異なる宇宙同士のゲートは勝手に開いてはいけないことになっていますが、「全ての時と空間をつかさどる創造主」の立場にあるものは、そのゲートを開き、2つの宇宙が交わることを許可することができるのです。」

私は異なる宇宙の「全ての時と空間をつかさどる創造主」に訪ねました。

「私達の宇宙は、ここ数ヶ月いくつもの異なる宇宙の創造主やダークピープル達に攻撃を受けましたが、あなたも、彼らと一緒に、私達の宇宙を侵略しようと考えていたのですか。」

異なる宇宙の「全ての時と空間をつかさどる創造主」は、少し混乱しているようです。

「皆さんがそのようにおっしゃられても、私は今までのことをほとんど覚えておりません。

先ほど第17評議会の創造主様から目覚めさせられ、様々な事を聞かれたのですが、私が知らない事ばかりなのです。」

第17評議会の創造主が、彼を哀れむように答えます。

「TAKESHIさん、私達も彼のことを信頼し任せていたのですが、彼は「全ての闇を生みだす創造主」たちによってコントロールを受け、皆さんの宇宙と他の宇宙のゲートをつなぐ許可を、闇の創造主達に出していたのです。

そのために、皆さんの宇宙と他の宇宙が繋がられてしまったのです。

この創造主は、その事を何も覚えていないのです。

どうか許してあげてください。」

もちろん私には彼を責める事はできません。

「わかりました。

それでは「全ての時と空間をつかさどる創造主」よ。

あなたは、私達の宇宙と異なる宇宙が再びつながれようとするときにはどうしますか。」

「はい、私の立場は、それぞれの宇宙の時と空間を正常なものにすることです。

異なる宇宙が関わると、ひとつの宇宙の時間と空間に大きなひずみが生まれますので、それは許しがたいことです。

私は、それを認めるわけにはいきません。」

私達の会話を聞いていた創造主とスターピープル達もほっとしたような表情です。

「わかりました、私達はあなたを信頼する事にしましょう。

どうか、私達の宇宙と異なる宇宙が交わらないようにしっかりと守ってください。」

「わかりました。」そうやって異なる宇宙の「全ての時と空間をつかさどる創造主」は自分の世界にかえって行きました。

異なる宇宙の「全ての時と空間をつかさどる創造主」は、闇の創造主達が光に返された後、私達の宇宙と他の宇宙のパラレルワールドをつなぎ、私達の世界を混乱させようとしたようですが、それも彼の本意ではな

いことがわかりました。

第 17 評議会は、彼以外の異なる宇宙の創造主は光に返したようですが、彼だけは重要な役目を持つ創造主だったので、光に返していなかったのです。

第 17 評議会の創造主は、彼のエネルギーを修正してもとに戻すと、私達の宇宙と異なる宇宙をしっかりと分離してくれました。

私達の宇宙は、他の宇宙と完全に分離されたおかげでエネルギーがどんどん軽くなり、後は人々の感情の浄化を残すのみとなりました。

PART2 第 17 評議会の創造主の決断

「全ての闇を生み出す創造主」を光に返した後、この地球も平和になるかと思っていましたが、そこから本当の混乱が押し寄せてきました。

それは、第 16 評議会の創造主達が作り出した強力なパワーを持つモンスター・ダークピープルが地球人として続々生まれて大変な問題を引き起こしてきたのです。

彼らは、たとえ幼児であったとしてもスピリチュアル・レベルでは大変なパワーと破壊力を持ちますので、地球人にとってはとても大きな脅威となります。

彼らは人々やスターピープルのスピリットを捕らえ、創造主達が作り出した世界を破壊していきます。

彼らによって作りだされたブラックエンジェル達も一緒になって、人々を甘い言葉で誘い、自分達の手下にしていきます。

そして自分達に歯向かうものがあれば、容赦なくサイキック・アタックを仕掛けてくるのです。

また彼らは、今までのダークピープルとは異なりサイキックな力で人の心を操ります。

人の心の中に、怒りや悲しみ、不安といったいくつもの感情を作り出し、その感情によって人々を混乱させるブラック・インナーチャイルドを作り出したのです。

ブラック・インナーチャイルドに心を奪われた人々は、過去の出来事に捕らわれ、心が感情的でネガティブなものとなります。

モンスター・ダークピープルは、その隙を狙って、人々の心の中に入り込もうとするのです。

各評議会のスターピープルや創造主も、彼らの動きを止めようと働いていますが、反対に彼らに捉えられたり傷つけられたりしています。

私のシェンロン達も、彼らの攻撃を防ぐために、戦っていますが全身傷だらけで、その痛みは私の体にも伝わってきます。

私と深い関係にある創造主も深い傷を負ったようです。

時折、鋭い痛みが私の体を貫きます。

やはり第 1 評議会や第 2 評議会のスターピープルや創造主では、まったく相手になりません。

すぐに、第 17 評議会の創造主から避難勧告が出ました。

それも第 10 評議会以下のスターピープル全員です。

このようなことはいままでもなかったことです。

エレナさんたちはもちろん、ロッド星人やブルナレッドたちまで、光の地球に退避します。

17 評議会の創造主が私達の前にあらわれました。

「TAKESHI さん、こうなったのも私達が作り出した第 16 評議会の創造主達が、皆さんの世界に関わってしまったためです。

彼らは、正当な創造主が行う事を妨害する為に生み出されてきましたので、皆さんの宇宙の創造主達の計画であるアセンションに対しても当然妨害を行って来ました。

第 16 評議会の創造主達には、この宇宙を支配しようなどという意図はないのですが、皆さんの宇宙の創造主達の成長のために、妨害を行っているのです。

しかし彼らの力は第 16 評議会に相当しますが、皆さんの宇宙の創造主のレベルは第 15 評議会が最高レベルです。

彼らが本気を出せば、第 15 評議会の創造主では到底対抗することはできません。

私達は、それが分かっている、彼らと皆さんの宇宙が接触しないようにしていたのですが、「全ての時と空間をつかさどる創造主」が「全ての闇を生み出す創造主」にだまされてしまったために、このような事態が起きてしまいました。

これも私達の責任です。

しかも彼らが、地球に降りて人として生まれてきた事に、私達も大変驚いています。

彼らは彼らなりに進化を遂げてしまい、私達でさえも予想できないような行動をとるようになったのです。」

「彼らが自分たちで独自に創造主やダークピープルを生み出したことも皆さんは分かっていたか。」と私は尋ねました。

「もちろん彼らは 16 評議会の創造主ですから、新たに創造主を生み出すこともダークピープルを生み出すことも当然のことですが、これだけ能力とパワーの高い者達を生み出すとは考えていませんでした。

すでに皆さんの宇宙の創造主とスターピープル達をたくさん傷つけてしまった事を、私達は深く謝罪したいと思っています。」

第 17 評議会の創造主達の悲しみのエネルギーが私達の間で静寂の時を作ります。

「私達は、自ら皆さんの宇宙に入り「統一宇宙の権限」を用いて、私達が作り出した第 16 評議会の創造主とその手下である創造主やダークピープル達の処理を行いたいと思います。

ただし、彼らの反撃も強くなるでしょうから、第 10 評議会以下の創造主とスターピープル達は光の地球に避難してください。

後は、私達にお任せください。」

そうすると第 17 評議会の創造主達を中心に第 10 評議会以上の創造主とスターピープル達がチームを組んで、私達の宇宙を調べ始めました。

そして様々な場所に隠れている第 16 評議会の創造主によって作り出された創造主やダークピープル達を捕らえていきます。

もちろん、それもスムーズに行なわれたわけではありません。

第 16 評議会の創造主や彼等が生み出した創造主やダークピープル達は様々な形で問題を起こし、私達を苦しめました。

しかし、第 17 評議会の創造主達のおかげで、私達の宇宙のエネルギーは少しずつきれいになってきました。

PART3 物理世界における葛藤

3月31日、最初の計画では、この日までに新しい光59%の世界に私達は移り変わる予定でした。しかしながら、人として生まれてきたモンスター・ダークピープル達によって、私達の世界は荒らされまくり、人々の移送は大きく遅れてしまいました。

31日の朝、私達が目覚めると、なにか時間と空間が歪んでいるような気持ち悪さを感じます。私達は、ハイブリッド・スターピープルやピカフラッシュを使って何か異常が起きていないか調べます。すると海底の奥深いところに、4本の柱のようなものが立ち、その中央に大きな装置のようなものが置かれているのが見つかりました。

すぐにスターピープル達が調べます。すると、その柱と柱の間から不気味な人型をしたエネルギーが立ち上がり、スターピープル達が弾き飛ばされてしまいました。この装置を守っているダークピープルのです。私は急いで第15評議会の創造主を呼び、そのエネルギーを光に返してもらいます。

その後しばらくしてスターピープルから報告がありました。「TAKESHIさん、この装置は、時間と空間に関わっている装置のようです。おそらく、最初の予定では、地球の人々を新しい光59%の世界に移送し終わる最終日が今日でしたので、その時を狙って稼働させていたと思われます。この装置によって、地球の時空間が歪められ、人々のスピリットが異なる世界に運ばれたり、地球が異なるパラレルワールドにつながれたりしていたようです。」この装置の周りを調べると、やはり多くの人々のスピリットが特別な空間に捕らえられているようです。すぐに人々のスピリットを解放してあげます。

4月1日になると第17評議会の創造主達は、物理世界へと入り、第16評議会の創造主とダークピープル達の探索がさらに本格化してきました。「TAKESHIさん、これからは私達が責任を持って16評議会の創造主と彼等が作り出した創造主達の処理をしていきましょう。もう時間がありません。私達をもっと早くから地球の物理次元に関わっていれば、ここまでひどい状況にならずに済んだのですが大変申し訳ありません。しかし今からでも遅くありませんから、地球のエネルギーの浄化を急ぎましょう。」

そして新たに第16評議会のスターピープル達も、地球に降りたダークピープル達の処理のために現れてくれました。彼等は、今までに会ったどのスターピープル達よりも格段能力が高く、仕事が早いスターピープルです。私達の子供も彼らの姿が見えるようで、あちらこちらを見渡ししながら、キャツキャツと喜んでいきます。

そして、今まで隠れていた創造主達やダークピープル達が、第 16 評議会のスターピープル達に見つかって逃げまどっているようです。

勿論彼等も相当なパワーを持っているダークピープル達ですので、様々な方法で私達に対抗してきます。そのたびごとに、様々な争いが繰り広げられましたが、やがてスターピープル達によって処理されていきました。

第7章 アセンションの扉

PART1 突然現れた未知の宇宙の創造主

4月に入ると、第16評議会の創造主や彼らが作り出した創造主、ダークピープル達の処理が終わり、光ある人々が新しい世界へと移送されることになりました。

人々はスターピープル達によって感情の浄化を行われた後、新しく作られた光59%の世界へとスピリチュアル・レベルで移送されていくのです。

人として生まれてきたダークピープル達は、光を持った人々が新しい光59%の世界へと移送されることを嫌って、人々を古い世界へ引き留めようとしますが、スターピープル達に見つかって分離されていきます。細々とした争いはまだまだありますが、この2日ほどは、私達の活動を妨害する創造主や強力なダークピープルも現れず、人々の移送はこのまま順調に行われていくかと思われました。

ところが7日、仕事からの帰宅途中、私が車の中でいつものように、スターピープル達からの報告を受けていた時までは良かったのですが、家に帰ると大変な事件が起きていました。

それは突然大きなエネルギーが現われ、人々の移送に関わっていたロッド星人や第1、第2評議会のスターピープル達が捕えられ連れ去られてしまったのです。

私は急いで、創造主やハイブリッド・スターピープル達を呼び、時をさかのぼってそのエネルギーの源を調べました。

すると、ダークピープル達が強力な力を得て、スターピープル達に攻撃を行う準備をしている様子が映し出されました。

私達はその時点で、ダークピープル達を捕え、スターピープルへの攻撃を止めることができましたので、スピリチュアル・レベルでは問題は解決しましたが、物理次元では大きな影響力がまだ残っています。

私達は、このダークピープル達のゲートを開き、ロッド星人や多くのスターピープル達が捕えられている場所を探しました。

スターピープル達も私達が探しに来ることが分かっていた為に、お互いのエネルギーを見つけあい、彼らをすぐに救出することができました。

その時、新しい光59%の世界を作っているシャンバラの人達から緊急連絡が入りました。

「TAKESHIさん、大変です。

こちらのあたらしい光59%の世界に大きなエネルギーが入り込んでしまいました。

そのエネルギーは、私達の世界のエネルギーのバランスを壊し、大きな地震を引き起こしています。

私達もそのエネルギーの処理をしようと思いましたが、私達の力ではかないそうにありません。」

一体どうしたのでしょうか、新しく作られた光59%の世界は、第17評議会の創造主の力によって守られているので、その力を上回る者達がいるのでしょうか。

「わかりました、すぐに創造主にお願いしてそのエネルギーを調べてもらい修復をお願いしましょう。」

私の言葉を待つまでもなく、第17評議会の創造主達は、新しい光59%の地球へと向かっています。

助けだされたロッド星人達も戻ってきました。

「TAKESHI さん、すみません、また一瞬のうちにやられてしまいました。

どうやら私達を捕え、私達が持っていたゲートを使って新しい光 59%の世界に入り込んでしまったようです。

そのために、光 59%の世界で大きなエネルギーの変動が起きてしまいました。」

「犯人は、あの 16 評議会の創造主達が生み出した創造主でしょうか、」

「いえ、はっきりとはわかりませんが、ダークピープル達を通して伝わってくるエネルギーは、彼らの物ではないような気がします。

私達にとっても未知なエネルギーです。」

「すると、私達とはまだ接触したことが無い宇宙の創造主達の仕業でしょうか。」

「もしかしたら、その可能性もあるかもしれませんが、私達ではわかりません。」

私は、第 15 評議会の創造主に、一体何が起きたのか尋ねました。

「TAKESHI さん、どうやら、他の宇宙とのゲートが開き、そこから創造主やダークピープルが流れ込んできたようです。

そして、地球に人として生まれてきたダークピープルや創造主達に影響を与え、彼らの力を一気に大きくしてしまっただけです。

私達は今、新しく入ってきた創造主やゲートを捜しているところです。」

その時、子供が激しく泣き出しました。

どんなにあやしても泣き止みませんので、子供の創造主を呼び出して、何が起きたのか、聞いてみました。

「大変です、今までであったこともない創造主から大きなエネルギーの干渉を受けています。

それで子供の体にも異変が起きています。」

どうやら、今迄に出会った事のないエネルギーに接したことにより、子供のスピリット体のエネルギーがバランスを崩し、頭痛を起こしているようです。

「創造主達よ、すぐに子供に関わっているエネルギーの源を探してください。

そして第 17 評議会の創造主よ、そのエネルギーを子供から切り離し、子供を守ってください。」

しかし、私達の必死の訴えにも関わらず、子供は泣きやみません。

「第 17 評議会の創造主よ、どうしたのですか、どうしてこの創造主の処理ができないのですか。」

第 17 評議会の創造主の 1 人が私に答えます。

「TAKESHI さん、この創造主は私達が生み出した創造主ではないからです。」

「この創造主は皆さんが生み出した第 16 評議会の創造主が作り出した創造主ではないのですか。」

「いえ、違います。」

「それでは、私の宇宙とは異なる宇宙の創造主なのですか。」

「そうです。」

皆さんの宇宙だけではなく私達が管理する全ての宇宙とは全く異なる宇宙の創造主なのです。」

私は一瞬、第 17 評議会の創造主が言った言葉の意味が分かりませんでした。

第 17 評議会の創造主は、全ての宇宙の管理者であるはずですので、彼らが管理する宇宙以外の宇宙がある

とは全く考えつきませんでした。

「それでは、この創造主が属する宇宙は、あなた方が管理していない宇宙だから、この創造主は皆さんの指示を聞かないという事ですか。」

「そうです。」

「それでは、誰がこの創造主の宇宙を管理しているのですか。」

「私達と異なる別の第 17 評議会の創造主でしょう。」

私はまた考え込みました。

第 17 評議会が、また別にあるという事は、その下には、私達の宇宙と同じようにいくつもの階層に分かれた創造主の世界があり、いくつもの宇宙があるのでしょうか。

今まで出会った創造主達は、全て第 17 評議会の創造主によって管理されている宇宙の創造主でしたので、たとえどれほど力を持った創造主であっても第 17 評議会の創造主にお願いすれば、簡単に処理してもらえたのです。

しかし、今回現れた創造主は、第 17 評議会の創造主の指示を受けないとしたら、一体誰がこの創造主達を抑えることができるのでしょうか、私は目の前が真っ暗になる思いです。

PART2 開かれたゲートから来た「変化の宇宙」の創造主

そこに第 15 評議会の創造主が戻ってきました。

「TAKESHI さん、やはり私達の宇宙と彼らの宇宙の間に大きなゲートが開かれていました。

そこから数名の創造主達が私達の世界に入り込んできたようです。

そのゲートをお子さんの創造主が、一生懸命に閉じようとしていたので、そこから入ろうとする創造主達との間でエネルギーのぶつかり合いが起きたようです。」

私は、第 17 評議会の創造主にどうしたらよいか尋ねました。

「彼等は、世界は異なりますが、私達と同じ第 17 評議会の創造主の元からやってきた創造主です。

彼等が、私達の世界に来れたという事は、私達も彼らの世界に行けるという事です。

私達が、彼らの宇宙に行き、第 17 評議会の創造主同士で話をしてきましょう。

通常では異なる宇宙が交じり合う事はないのですが、今 2 つの宇宙の時と空間が同じ場所に並んでしまったためにこのような事が起きたのです。

アセンションの時期には、このような事が良くおこります。」

私の心に、創造主が言った「アセンションの時期には、」という言葉が残ります。

後でその言葉の真相を聞いてみましょう。

第 17 評議会の創造主が、異なる宇宙の第 17 評議会の創造主と話をしている間に、私は子供にエネルギー的な干渉を行なった創造主と話をすることにしました。

私は、私達の宇宙に新しく入ってきた創造主に呼びかけます。

「あなた方は、どのような宇宙から来られたのですか、教えていただけますか。」

私の前に現われた創造主は答えます。

「私達の宇宙はとても変化にとんだ宇宙です。
常に移り変わり、非常に多彩で豊かな宇宙です。
私達は目新しい物に対して大きな好奇心を持っていますので、それらの物を吸収したいと思っています。」

私はこの宇宙から来た創造主の話を聞いて「すべての創造主を指導する創造主」の言葉を思い出しました。
きっと、この宇宙の創造主達は「すべての創造主を指導する創造主」達と同じような考え方を持った創造主達のようなのです。

彼等は決して悪気があって私達の宇宙に関わってきたわけではないようですが、彼等と接触する事によって私達の宇宙に大きな混乱が起きるのは間違いないでしょう。

「皆さんはどうして私達の宇宙に入ってきたのですか。
何か特別な目的でもお持ちですか。」

「いえ、ちょうど私達の宇宙と皆さんの宇宙の時間と空間が同じ並びになったために、私達の宇宙と皆さんの宇宙の間のゲートが開いたのです。

私達は、皆さんの宇宙を探検するつもりで入ってきました。」

「ゲートが開いたからと言って、私達の断りもなく入ってきてもよいのですか。」

「確かに、皆さんの宇宙ですから、皆さんに許可を求める必要があるかもしれません。

しかしゲートが開かれるという事は、そこに入ってもよいという事だと私達は解釈しています。」

「皆さんが私達の宇宙に入る事によって、私達のアセンションを妨害しようとしている存在達が突然力をつけて、私達の世界に大きな問題が起きてしまったのです。

それはどうしてですか。」

異なる宇宙の創造主はしばらく私達の宇宙をみわたして、何が起きたのかを調べているようです。

「それは、大変申し訳のないことをしました。

私達と波長の近い存在が、私達のエネルギーを受けて強い力を持ってしまう事は良くあることです。

きっとその存在も、この宇宙に大きな変化をもたらしたいと考えていたのかもしれませんが。

私達には、どちらの存在が、この宇宙の統治者かわかりませんので、それ以上の事は何とも言えないのです。」

異なる宇宙の創造主は、意味ありげに含み笑いをしています。

このままでは、私達の宇宙を侵略しようとしている創造主達と手を組んで何かやらかすかもしれません。

早いところ切り上げたほうがよさそうです。

「私達は、皆さんの宇宙の事を良く理解できませんので、私達としては、皆さんと関わり合う事を、今は差し控えさせていただきたいと思っています。

私達の宇宙は、今大きな変化のただ中にあります。

私達の力で、この宇宙を統一性のあるものに成長させていかなければなりませんので、皆さんと関わり合う事は、まだ早いと思われれます。」

異なる宇宙の創造主は意外そうな顔をしています。

「私達の宇宙と皆さんの宇宙の時間と空間が一つにならんでゲートが開かれたので、私達は皆さんからご招待を受けたのだと思っていました。

皆さんが、この宇宙の本来の支配者であれば、私達を受け入れてくれるだろうと考えていましたが、私達を招待した創造主と皆さんは違うようです。

しかし、皆さんがこの宇宙の支配者であると言い張るのであれば、私達は皆さんの意思を尊重しなければなりません。

私達は撤退することにしましょう。」

どうやら、このゲートが開いたのは2~3日前のようです。

その時までには、私達の宇宙には、第16評議会の創造主やダークピープル達もたくさんいて、私達の宇宙のエネルギーは大変混乱していました。

もしかすると、私達の力よりも、第16評議会の創造主やダークピープル達の力の方が勝っていたのかもしれませんが。

そうなると、異なる宇宙の創造主から見ると、この宇宙の支配者は、私達ではなく、第16評議会の闇の創造主達であるという事になります。

その証拠に、彼等が入ってきたときに「自分達と波長が近い存在が力を得る。」と言っていましたから、第16評議会の闇の創造主達の方が、私達よりもずっと親近感を持てる存在であることは間違いないようです。

そこまで考えると、私の中にひとつの推論が生まれてきました。

それは、この創造主達はしばらく前から、私達の宇宙に入り込み、第16評議会の創造主達と交流を行っていたのではないのでしょうか。

そして第16評議会の創造主やダークピープル達を進化させ、大きなパワーを持たせることで、第17評議会が抑えることができないほどの存在にしてしまったのではないかという事です。

つまり、私達の宇宙のアセンションを妨害している張本人は、この変化を好む宇宙の創造主達ではないだろうか、という考えが頭をよぎります。

「あなた方は、誰かの命令を受けて、私達の宇宙に関わり、私達のアセンションを妨害しようとしているのですか。」

創造主は、私に向かって「何を言っているのだ。」という表情を向けます。

「皆さんは、考え違いをしていませんか、皆さんの宇宙がアセンションしたからこそ、私達の宇宙の時間と空間が皆さんの宇宙と同期したのです。

皆さんの宇宙は、皆さん自身を成長させるために、私達の宇宙との間にゲートを開いたのです。

これが宇宙の必然でありアセンションの仕組みであると理解できないのですか。」

私は、返す言葉が見つかりませんでした。

地球人としての知識しか持っていない私は、宇宙の様々なシステムやルールに対してほとんど何も知らないのです。

「それは失礼しました。

私達は、第17評議会の創造主を含めすべての評議会の創造主達と共に、この宇宙のアセンションを行ってきましたが、私達の宇宙に介入し、私達の目指すアセンションを妨害する創造主達がたくさんいましたので、私達の宇宙はいまだ混乱の中に有ります。

そのために、私達が望むアセンションはまだできあがっていない状態です。

皆さんの宇宙とはその様な状態のなかで出会いましたので、皆さんの事を受け入れる準備が私達にはまだできていません。

私達が、もっと成長して皆さんの事を理解できるようになってから、皆さんとはまたお会いしたいと思います。」

私は、創造主に対して丁寧に謝罪しました。

創造主は、私達の状況を理解してくれたようです。

「わかりました。

そういう事情であればしょうがないでしょう。

私達にも、そして皆さんにとっても素晴らしいチャンスだと思ったのですが、今回は退散することにしましょう。」

そういつて、彼らは私達の宇宙から出ていってくれました。

私達の宇宙のスターピープルと創造主は、彼等が私達の宇宙と関わる事によって、私達の宇宙のエネルギーが大きく変化しましたので、その修正に入りました。

PART3 アセンションの扉

私が、私達の宇宙に入ってきた創造主と話終わった頃、私達の宇宙の第17評議会の創造主も、「変化の宇宙」の第17評議会の創造主と話終わって戻ってきました。

私は、第17評議会の創造主にどうなったのか尋ねました。

「TAKESHIさん、心配することはありません。

彼等も、私達の状況を理解してくれて、今回は撤退してくれることになりました。

あなたの方も、皆さんの宇宙に入ってきた創造主と十分に話をすることができて良かったと思います。」

「確かに私の方もたくさんの事を学ぶことが出来ましたが、彼らは本当に私達の宇宙から撤退してくれるのでしょうか。」

「それは心配ないと思います。

私達の世界では、お互いの宇宙に無断で入ってきてはいけないというルールがあります。

上の評議会になればなるほどそのルールを守らなくてはならないのです。

今回開かれたゲートは、通常、創造主達が開くゲートではなく「アセンションの扉」と呼ばれているゲートですので、彼等が私達の宇宙に入ってきたことは必然なのです。」

私は、「アセンションの扉」という言葉が気になります。

アセンションには、私達が知らない秘密が未だあるようです。

「第17評議会の創造主よ、申し訳ありませんが、その「アセンションの扉」についてもっと詳しく教えてもらえませんか。」

第17評議会の創造主はにっこりと笑って答えてくれます。

「今回のアセンションは、とても特別なアセンションです。

それは単に地球だけがアセンションするのではなく、皆さんの宇宙全体がアセンションするのです。

ひとつの宇宙がアセンションすると、今迄とは異なる波動やエネルギー状態になります。

そうなるると新しく生まれ変わった宇宙をサポートする為に異なる銀河や宇宙との間に新たなゲートが開きます。

そしてそのゲートを通して、2つの宇宙が交流してお互いを成長させるのです。」

「それでは、私達の宇宙と出会う宇宙はあらかじめ定められているのですか。」

「いえ、それは直前までわかりません。

ただ、大いなる宇宙のシステム上、出会う時期は決められています。

私達は、その時期に合わせて、皆さんの宇宙を光ある宇宙にする予定でした。

地球人の多くがアセンションして光の地球に行けたならば、皆さんの宇宙はとても輝かしいものとなり、さらに皆さんを成長させてくれる素晴らしい宇宙と出会う予定だったのです。」

私は、創造主達がアセンションの時期を決められていて、それまでに地球をアセンションさせなければならぬと慌てていた理由が分かりました。

それは、アセンションの扉が開く時期までに地球と私達の宇宙を素晴らしい世界へとアセンションさせなければならなかったのです。

それができなければ、今回のように私達が望んだ宇宙ではない宇宙との間にアセンションの扉が開いてしまう可能性があるからです。

そして、第 16 評議会の創造主や彼らが作り出したダークピープル達がこの地球に降りて、人として生きていたためにそれは現実となってしまいました。

「TAKESHI さん、これは私達にとって大きな過ちでした。

地球と皆さんの宇宙は、この時期までに、様々な問題のある創造主やダークピープル達を片付けてすばらしい宇宙になる予定でした。

地球の人々も、地球にやってきたスターピープル達もその意識を高め、多くの者達がアセンションして光の地球に行く予定だったのです。

そうすると、その宇宙に見合ったすばらしい宇宙が、皆さんの宇宙との間にアセンションの扉を開き、皆さんの宇宙は一気に今までにないくらいすばらしい宇宙へと成長していく予定だったのです。

しかし第 16 評議会の創造主や彼らによって生み出された創造主、そして彼らの影響を受けた多くの創造主達が地球に介入し、地球の人々のスピリットを捕らえ、自分達自らも地球人として生まれてきました。

そのために、皆さんの努力にも関わらず、地球と皆さんの宇宙は波動が低いままとなってしまったのです。私達が、もっと早く第 16 評議会の創造主達の介入に気づき、地球の物理世界に関わっていたなら、ここまでひどい状況にならずにすんだことでしょう。

本当に申し訳ありませんでした。」

「第 17 評議会の創造主よ、アセンションの扉の意味がよくわかりました。

確かに第 16 評議会の創造主をはじめ様々な創造主やダークピープルによって私達のアセンションは混乱を極めました。が、まだこれからすばらしい宇宙と出会う機会は残されていないのですか。」

第 17 評議会の創造主は、大いなる宇宙の時間を計算しているようです。

「TAKESHI さん、それは決して不可能なことでありません。

私達もできうる限り、地球と皆さんの宇宙の浄化を行っています。

そしてほかの創造主やスターピープル達も、力の限り努力しています。

私達は、第 18 評議会の創造主にもお願いして最後のチャンスにかけたいとおもいますので、皆さんも努力してください。」

私達は、第 17 評議会の創造主達が統治するのとは異なる宇宙の創造主達が入り込んできた時、第 18 評議会の創造主に助けを求めましたが、そのとき第 18 評議会の創造主は、「これは当たり前なことなんだよ、」というようなことを言われましたが、それもやっと今理解できました。

「それから TAKESHI さん、もうひとつ大切な話をしておきましょう。
アセンションに関わる時間というのはとても特別なものです。
それは皆さんが考えているように、直線状に時間が動いているわけではありません。
たとえば皆さんは、第 16 評議会の創造主が、自分達の宇宙に関わってきたから、様々な創造主がコントロールされてアセンションが妨害された。
その結果、理想的な宇宙と出会うことができなかつた、一方向にしか時間の流れを考える事ができません。
しかし、宇宙の時間は、決して一方向だけに流れるのではありません。
たとえば、今回の「変化の宇宙」との出会いが起きたから、この宇宙と出会うような過去が作られていくこともあります。
もし皆さんが、輝かしい光の宇宙と出会うことができたならば、今までの皆さんの過去も大きく変わる可能性がありますので気を落とさずに、その瞬間瞬間を大切に、しっかりと仕事に励んでください。
あなたが現実世界で行っている仕事もとても大切な仕事です。
きっと光に満ちた宇宙に出会えたなら、あなたの仕事も大きく変わることでしょう。
それまでは、気持ちを前向きにして、仕事に励んでください。」

私は、第 17 評議会の創造主の優しい言葉に涙が出そうになります。
確かにロッド星人やエレナさんに聞いても、自分達の星や宇宙がアセンションを迎えるときは、アセンションの扉が開き、異なる宇宙の創造主やスターピープルとの交流が起こり、飛躍的な成長を行った経験があるようです。
私の前にロッド星人が現われ、私に彼らの経験を話してくれました。

「TAKESHI さん、確かに私達の宇宙がアセンションするときも同じようにアセンションの扉が開きましたが、私達の種族は、皆が同じような考えを持ち、意識が統一されていまして、何の問題もなくすばらしい宇宙の創造主やスターピープルの方達とお会いできました。
そしてその出会いによって私達も大きく成長しました。
しかし地球とこの宇宙は本当に特別です。
様々な考えや意識状態の人がたくさんいますし、創造主の考え方もバラバラです。
そのためにアセンションに伴い、予想もしていないことが次々と起こりました。
しかし、今は創造主もスターピープルもひとつの考えにまとまってすばらしい宇宙になりつつあります。
ここまでこれただけでも奇跡のようなものです。
このまま行けば、きっとすばらしい宇宙との間にアセンションの扉が開きますよ。」
ロッド星人は私を慰めるように言ってくれます。

私達の宇宙は、「変化の宇宙」に出会うことにより、たとえ短時間であったとしても、様々な影響が出てしまいました。

「変化の宇宙」の創造主の中には、彼らの最高評議会である第 17 評議会の創造主の指示に従わず、アセンションの扉が閉じたあとも私達の宇宙に残っていた創造主が 5 人ほどいて、様々な問題を引き起こしましたが、彼らもやがて光に返されました。

私達の宇宙は、第 17 評議会の創造主によって再び浄化され、新たなアセンションの扉が開く時期を持つことになりました。

それは4月中に起こるのか、5月になるのかわかりませんが、きっとすばらしい光の宇宙と出会った時、私達の地球も更なる進化を遂げることでしょう。

そのときこそ、私達がすばらしいスターピープルとして成長する第一歩となるのです。

PART1 巻き戻った時間

第17評議会の創造主と「アセンションの扉」の話をしてから2、3日は、私達は「変化の宇宙」の創造主が入り込んだことによって生じたエネルギーの混乱や「変化の宇宙」からきたダークピープル達の処理に追われていました。

彼らはとてもパワーが強く高い能力を持っています。

しかも狡猾ですぐに人々と一体化して、私達のアセンションの妨害をしてきました。

彼らは、「変化の宇宙」の第17評議会の創造主達が私達の宇宙から撤退したにも関わらず、私達の宇宙を支配しようと考えて残った「ならず者」のような創造主達です。

「変化の宇宙」の第17評議会の創造主も、私達に数名の創造主が皆さんの宇宙に残るかもしれないと言っていました。実際に数名の創造主が、人の意識の中や様々な世界に隠れていたのです。

私は、私達の宇宙の第17評議会の創造主に言いました。

「「変化の宇宙」の創造主が、私達の宇宙に残って私達の活動の妨害をしていることに対して、「変化の宇宙」の第17評議会の創造主達は、何も対応してくれないのですか。」

「そうです。

彼らはもうすでに、私達の宇宙とのゲートを閉ざし、私達の宇宙とは接触することができなくなりましたので、彼らはもう何もできないのです。」

「それでは、「変化の宇宙」の創造主の中で、私達の宇宙に残った創造主はどうするのですか。」

私は不安になってきました。

「彼らの宇宙はもうすでに私達の宇宙との接触を絶ちました。

「変化の宇宙」の第17評議会の創造主も、もし「変化の宇宙」の創造主が残っていれば自由に光に返してくださいと言っていましたので、見つかれば次第に光に返すことにします。」

確かに、第17評議会の創造主の指示を聞かずに、私達の宇宙に残っているとしたら不法滞在にあたるので、こちらのやり方で自由に始末してください、という事らしいです。

少しドライな感じもしますが、今は「変化の宇宙」の創造主とダークピープルを探し出し、私達の宇宙を守らなくてははいけません。

私達は、彼らを探し出すためにいくつもの方法を使って彼らを捕まえることにしました。

「変化の宇宙」の創造主達は時も空間も自由に移動しますので、第16評議会の「時と空間を支配する創造主」と共に見つけることにしました。

彼らは非常に能力が高くパワーも大きいため、第8評議会以下の創造主やスターピープルでは対抗できませんので、一時的に「光の地球」退避して、第10評議会以上の創造主とスターピープル達が中心となって、「変化の宇宙」の創造主達を探します。

彼らは主に地球人の意識の中や時の狭間の中に隠れていたのですが、私達はようやく彼らを探し出し、第17評議会の創造主をお願いして、光に返してもらうことができました。

そのような時、第17評議会の創造主より報告がありました。

「TAKESHIさん、彼らが皆さんの宇宙の時代をさかのぼり、宇宙のエネルギーを変えた時を見つけました。彼らはこの時代に、皆さんの宇宙と自分達の宇宙をつなぎ、「変化の宇宙」の創造主達の資質を持つ創造主を生み出していたのです。

その創造主達は、とても支配的で横暴な創造主に育ち、皆さんの宇宙に大きな混乱と抑圧をもたらしました。皆さんの宇宙は、それ以来、争いや支配が横行する世界となったようです。」

「「変化の宇宙」の創造主達が、私達の宇宙に関わる事によって、私達の宇宙の歴史が大きく変わったということですか。」

「そうです。

彼らが皆さんの宇宙に入り込むことによって、皆さんの宇宙の歴史と質が大きく変化してしまったのです。彼らは、皆さんの宇宙と自分達の宇宙がやがて交わるように過去に戻ってセッティングしたともいえるでしょう。」

「それでは、私達が今まで処理してきた創造主達は、変化の宇宙の創造主達の影響によって生み出されてきた創造主達だったのですか。」

「そうともいえるでしょう。

彼らは、皆さんの宇宙の創造主達に、自分達の遺伝子やエネルギーを組み込んで新たに生み出したようです。しかし、彼らがこの地球に関わり、エネルギーを変えた時が分かりましたので、私達はそれを修正しました。」

「修正したらどうなるのか教えてください。」

私達の会話に多くの創造主やスターピープル達が興味を持って集まってきました。

「そうですね、皆さんの宇宙に様々な変化が起きるでしょう。

彼らの影響を受けた創造主達がこの宇宙から消えていなくなるでしょう。

そしてそれに伴い、創造主達から抑圧を受けていたスターピープル達から抑圧の歴史が消えていきますので、彼らはもっと成長した状態になります。

またダークピープルの中でも、これらの創造主がいなければスターピープルに変化する者達もいるかもしれません。」

スターピープル達の間で大きな歓声があがります。

「そして地球人だけでなく、多くのスターピープルや生命たちの中でスピリットや魂を捉えられていた者達も、その歴史が消えていきますので、今よりももっと自由に光に満ちたものになります。」

「それはとても素晴らしいことです。

横暴な創造主によってたくさんのスターピープルたちが闇の世界やブラックホールに閉じ込められて苦しんでいましたが、そのような苦しみの過去も消えて行くというのでしょうか。」

「もちろんです。

彼らは、素晴らしいスターピープル達です。

彼らが順当に成長していたら、このようなスターピープルになるであろうと予想されるスターピープルになることができます。」

第17評議会の創造主の言葉を聴いたスターピープル達は、すぐにその言葉をできるだけ多くのスターピー

プル達に伝えようとテレパシーを送り始めました。
スターピープル達は、もうお祭り騒ぎです。

「第 17 評議会の創造主様、そして TAKESHI さん本当にありがとうございます。
これで多くのスターピープル達が成長することができますし、私達の仲間の中でも、創造主にだまされてダークピープルになった仲間たちも救われるかも知れません。」
スターピープル達が、私達に喜びのメッセージを伝えてきました。

「第 17 評議会の創造主よ、たとえば「全ての創造主を指導する創造主」達が作った宇宙はどうなるのですか。」

「それらの宇宙も、もっと良い宇宙に姿を変えることでしょ。もちろん皆さんの学びのために、全ての宇宙が光に満ちた宇宙にはなりません、少なくとも今よりは、はるかにすばらしい宇宙になるはずですよ。」

「私達の物理世界も変わるのでしょうか。」

「もちろんです、スピリチュアルの世界のようにすぐには変わりませんが、様々な問題がこれから浮かび上がり、それを解決することによって皆さんの地球もすばらしいものになっていくでしょう。」

やはり物理世界は、きっぱりとは変わらないようです。

私達の会社や生活も、今かなり窮地に立たされているので、このエネルギーの変換によりすぐには変わるかと期待したのですが、残念ながらそれはないようです。

物理世界では、彼らが作り出した創造主やダークピープル達を片付けながら、エネルギーが変換した宇宙を自分たちで作り上げていかなければならないようです。

PART2 スターピープルに戻ったダークピープル達

その日の夜、数名のスターピープル達が挨拶にあらわれました。

彼らは、宇宙のエネルギーが変わり、「変化の宇宙」の創造主達の影響を受けた創造主がいなくなることによって、ダークピープルからスターピープルに戻った種族のようです。

「TAKESHI さん、そして皆さん、今まで大変ご迷惑をかけて申し訳ありませんでした。」

私達は、闇の創造主によってスピリットを捕らえられ、彼らの手下として働かされていました。

私達も本来は成長を望むスターピープルだったのですが、私達の意識はコントロールされ、創造主の命令のままに、他の星を侵略し、人々を捕らえ傷つけていました。

今考えれば、とても恐ろしいことです。

このままだと、私達のスピリットも永劫に闇にとらわれ、スピリットの全てがダークピープルになるところでした。

今回、第 17 評議会の創造主様が、宇宙のエネルギーを切り替えてくださり、いくつものダークピープル達が、スターピープルに戻ることができたと聞いております。

そのようなスターピープルを代表して TAKESHI さんにもお礼を言いにきました。」

そのように言ったのは、へび使い座の種族です。

へび使い座は、彼らのように多くの種族が、創造主に捕らえられ、ダークピープルとして使われていました。彼らはもともと高い英知と多彩な能力を持っていたために狙われたのでしょう。次に、魔法使いのような姿をした種族が私の前にでてきました。この姿からしてアルクツールズのスターピープルのです。彼らは魔法を使ったりドラゴン達を自由に操れるので、この天の川銀河の中ではもっとも厄介なダークピープルでした。

「TAKESHI さん、私達も皆さんには大変ご迷惑をかけました。私も、何度もアルクツールズのドラゴンを操って地球に攻め込んだ記憶があります。そのたびに、皆さんから撃退されて悔しい思いをしていたようです。しかし、同じアルクツールズの種族が、皆さんとともにアセンションの仕事をしているにも関わらず、私達は、アセンションの妨害を行くたびも行ってきたことをお許してください。これからは、仲間のスターピープルとともに、私達も皆さんのアセンションをしっかりと応援いたします。」

彼らのほかにもしし座の種族やいくつもの種族が挨拶に来てくれました。エレナさんもたくさんの仲間が増えたことに喜びを感じています。

「TAKESHI さん、皆さんのおかげで、私達の宇宙からダークピープル達がだいぶ少なくなったようです。そして皆さんに助けていただいた多くのスターピープル達の種族も、歴史が変わりアセンションの度合いが非常に高くなりましたので、第1評議会自体がとてつもなくパワーアップしています。」私もエレナさんの言葉をとてもうれしく思います。

私は、ケンタウルスの種族であり、私のスピリットととても関係が深いライプツヒを呼び出しました。彼は、地球が生まれるはるか以前に、闇の創造主の横暴に立ち向かいましたが、闇の創造主に捕らえられ長い間、闇の中に閉じ込められていた種族です。彼らは、私達から助け出された後、すぐに2段階アセンションして、第5アセンションを向かえ、第1評議会の中でもリーダー的な活躍をしてくれています。

「ライプツヒよ、あなた達にも変化ありましたか。」と私は尋ねます。「TAKESHI さん、もちろんです。」

私達は、皆さんに助け出されたときも2段階上げてもらいましたが、今度は一気に5段階上がり、現在第10アセンションです。」

「それは素晴らしいですね、それでは第2評議会入りですね。しかし、その前にあなたに大切な仕事をしてもらいたいのですが良いですか。」「もちろんです。それは何でしょうか。」

私は、今回のエネルギーの変換によってダークピープルからスターピープルになった種族達を指差しました。「彼らの指導をお願いしたいのです。」

もちろん、仲間達の種族も面倒を見ると思いますが、第1評議会のメンバー達と協力して彼らを育て、どのような仕事をさせ、どのような役割を与えたらよいか、考えてください。」

「もちろんです、私達の願うところです、お任せください。」ライプツヒはケンタウルスの種族ですが、アセンションの度合いが低いケンタウルス族は、まだまだ荒々しいので、ライプツヒが立派なリーダーとなることでしょう。

ライブツヒの横には、第1評議会の議長でもあるアルテミスがにっこりと笑って立っています。

「TAKESHIさん、そして皆さん、私は皆さんにお礼を言いたいと思います。」

私は、私のガイドでもあり、よき仲間でもあるアルテミスのほうを向きました。

「私は、このアセンションが終了したら、次は第2評議会に移ることになりそうです。

このアセンションを通して皆さんと出会え、ともに仕事ができただことは私達にとってかけがえのない学びとなりました。

私は、エネルギーが適正化されたことにより、第6アセンションを迎えますので、ロッドさん達がいる第2評議会に迎えられることになりました。

本当にありがとうございます。」

ロッド星人もアルテミスの話を聞いてうれしそうです。

「TAKESHIさん、第1評議会のみならず、第2評議会、第3評議会のスターピープル達もアセンションの度合いが上がったようです。

もちろん私も上がりましたので、今まで以上に皆さんのお役に立てると思います。」

ロッド星人は今までよりもクリスタルの輝きがいつそう増したように思えます。

その横には、第3評議会のグルナレッドが立っていますが、彼のエネルギーはあまり大きく変化していないようです。

「グルナレッドはいくつかアセンションの度合いは上がったのですか、

あなたも創造主によって、とても長い間、闇の中に閉じ込められていましたので、その期間、通常に成長していたとすれば、アセンション段階も数段あがったでしょう。」

「TAKESHIさん、本当にご配慮いただきありがとうございます。」

私達は1アセンションあがりました。

私達は、自分達でどのような過去になるか選ぶことができます。

私達の種族でも、一般の者達は、捕らえられていない過去を選び、2アセンションあがることができました。

しかし、私達実行部隊は、あえて捕えられた過去を選び、それを教訓とすることにしました。

例えそれが望ましくない過去であったとしても、それを乗り越えたことは私達にとってはすばらしい教訓となりますし、そのような事を2度とおこさないように、その過去を忘れないことも大切な事ですので、私達は、闇の中に長い間閉じ込められていた過去を選択することにしました。」

自分達のアセンション段階が上がることばかりに気をとられていたスターピープル達は、グルナレッドの話を聞いて、自分達の未熟さに気づいたようです。

「そうですね、私達が経験した過去は、それがどんなにつらい過去であったとしても、今の自分には必要な過去です。

その中で学んできた事を忘れてはいけないという事が、私達も分かりました。」

スターピープルの1人が、つぶやきました。

この地球のエネルギーが正しいものに移り変わってきた4月12日ころ、私の家の前にある桜並木の桜たちもようやく花を開き始めました。

「変化の宇宙」の創造主によって、時をさかのぼって多くの創造主やダークピープル達が地球に生み出されていたのですが、彼らも地球のエネルギーの変化に伴い、隠れていることができずに姿を現し始めました。

この日は、私も工作中からずっと心臓の辺りが剣で突き刺されたように痛い思いをしていました。

自宅に戻ってから、第16評議会のスターピープル達に調べてもらおうと、「変化の宇宙」の創造主によって作りだされた創造主が、私のハートの部分に様々な過去の私を結び付けています。

そのどれもが、多くの人に反感をもたれて憎まれたり恐れられたりしている人生です。

しらべてみると、この創造主によって、私の言動が誤解されて多くの人の怒りが私に向くようにしているようです。

この仕組みは、遥か昔に作られたようですが、それが私の魂やスピリットに何重も巻きついて、私の体を覆っています。

毎回、毎回、地球のアセンションのために、この地球に生まれ変わってきても、この仕組みのために仲間達を失い、アセンションを成功させることができなかつたようです。

これは、「変化の宇宙」の創造主が、地球のアセンションを成功させないために、時をさかのぼって作り上げた仕組みのようですが、私達の第17評議会の創造主が、地球と私達の宇宙のエネルギーを切り替えたことにより、この仕組みが浮かび上がり解除できるようになったようです。

私は、第17評議会の創造主をお願いして、私を捉えているエネルギーを私から切り離してもらいました。

そして、この仕組みに関わっている多くのダークピープル達も発見することができましたので、彼らを光に帰したり、分離することもできました。

またこの仕組み以外にも様々なエネルギーが私につながれていました。

たとえばネガティブな思考を生み出し、その思考の力によってネガティブな現実を作り出す仕掛けなどもありました。

また、時間と空間を自由に行き来できる創造主も隠れていました。

この創造主は、私達の宇宙の時間に操作を加え、人々の意識を混乱させていました。

私達は、私の体につながっている創造主やダークピープル達のエネルギーを精密に調べることで、いくつもの次元に隠れている創造主やダークピープル達をとらえていきました。

彼らは、もともと存在していた創造主ではなく、地球に残った「変化の宇宙」の創造主達が時をさかのぼって生み出した創造主達ですので、私達の宇宙の第17評議会の創造主では見つけ出すことが困難なようです。しかも彼らは地球人として生まれてきている場合もありますので、なおさら発見することは困難になります。

やがて日がたつにつれ、「変化の宇宙」の創造主達が作り出した創造主達も片付いてきました。

もう少しダークピープルたちは残っているようですが、スターピープル達も避難していた「光の地球」から戻ってきて、再び人々の移送を始めることになりました。

しかし「変化の宇宙」の創造主達が、様々な世界を行き来したために、私達の地球の区分がかなり混乱して、光40%台の地球と光50%台のいくつもの地球が交わるようになってしまいました。

高次元の創造主は、まず各世界の再区分から始めることにしたようです。

光 40%台の世界と光 51%以上の世界をしっかりと区分して、さらに光 51%以上の世界を、光の度合いに応じて細かく区分していきます。

そして、その区分が出来上がったら、まず人々のスピリットを適応した世界へと運んでいくようです。

その移動が進むうちに地球の物理世界にも変化が現れ、肉体を持った人々の区分けが進むようです。

第 17 評議会の創造主達は、次のアセンションの扉が開く時期までに、地球人の移送を完了し、「光の地球」をしっかりと作り上げたいようです。

とても急いで仕事をしている様子が、私達にも伝わってきます。

そのような中「変化の宇宙」の創造主達が捕らえていた多くの人々のスピリット達の所在が明らかになりました。

この日も、体の異変に気づいた私が、スターピープル達に調べてもらおうと、私のスピリットの一部が捉えられている場所がありました。

そこには、今まで見たこともない数のスピリットが様々な地域を越えて捕らえられているのです。

「変化の宇宙」の創造主ならではの大規模な収容施設です。

地球の人々は、自分のスピリットを完全なものにしないと、アセンションした世界へ行くことができません。

私達は、急いでスピリットを開放していきます。

そのスピリットはもともとの持ち主の元に返っていきました。

そして、準備が整った人から、順番に新しい世界へと送られていくことになるのです。

やがて、人々のスピリットの移送が終わり、地球人がしっかりと分離されたなら、そこに多くのスターピープル達が人々のサポートのために、地球に降りてくることになっています。

地球人は、スターピープルとして目覚めるには意識の進化が十分ではありませんし、スターピープルや創造主の仕組みの事もほとんど理解していません。

新しく整えられた世界で、人として生まれてきたスターピープル達とともに暮らしながら、自分達の意識を高め、やがて本格的に行われるスターピープルとのファーストコンタクトを迎えることになるでしょう。